

目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
健康推進課	健康づくりの推進	2102	保健衛生総務管理費	保健衛生総務経常管理費	簡易	1
健康推進課	健康づくりの推進	2110	愛育委員活動費	愛育委員活動費	総合	2-3
健康推進課	健康づくりの推進	2115	栄養委員活動費	栄養委員活動費	総合	4-5
健康推進課	健康づくりの推進	2250	骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成事業	骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成事業	簡易	6
健康推進課	健康づくりの推進	2251	骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成事業	骨髄・末梢血幹細胞ドナー事業所助成事業	簡易	7
健康推進課	健康づくりの推進	2320	予防接種費	予防接種費	簡易	8
健康推進課	健康づくりの推進	2321	予防接種費	肺炎球菌ワクチン予防接種事業	簡易	9
健康推進課	健康づくりの推進	2325	予防接種費	インフルエンザワクチン接種事業	簡易	10
健康推進課	健康づくりの推進	2326	予防接種費	成人の風疹予防接種事業	簡易	11
健康推進課	健康づくりの推進	2327	予防接種費	成人の風疹追加的対策事業	簡易	12
健康推進課	健康づくりの推進	2355	健康増進事業	がん検診等事業費	総合	13-14
健康推進課	健康づくりの推進	2356	健康増進事業	後期高齢者健康診査事業費	総合	15-16
健康推進課	健康づくりの推進	2381	感染症予防費	新型コロナウイルス予防費	簡易	17
健康推進課	健康づくりの推進	2382	感染症予防費	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	簡易	18
健康推進課	健康づくりの推進	2383	感染症予防費	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	簡易	19
健康推進課	健康づくりの推進	2385	地域自殺対策緊急強化基金事業費	地域自殺対策緊急強化事業費(普及啓発)	簡易	20
健康推進課	健康づくりの推進	2390	健康づくり推進事業費	健康づくり推進事業費	総合	21-22
健康推進課	健康づくりの推進	2392	健康づくり推進事業費	かがみの健康チャレンジ事業費	総合	23-24
健康推進課	健康づくりの推進	2394	健康づくり推進事業費	健康ポイント事業費	総合	25-26
健康推進課	健康づくりの推進	21134	特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業費	総合	27-28
健康推進課	健康づくりの推進	21136	保健衛生普及費	保健衛生普及費	総合	29-30
健康推進課	地域医療の充実	2122	救急医療対策費	救急医療対策費	簡易	31
健康推進課	地域医療の充実	2186	各種団体補助金	苫田郡医師会補助金	総合	32-33
健康推進課	地域医療の充実	21002	総務一般管理費	経常管理費	簡易	34
健康推進課	地域医療の充実	21005	総務一般管理費	特別調整交付金(その他特別事情)事業費	簡易	35
健康推進課	地域医療の充実	21010	総務一般管理費	市町村事務処理標準システム整備事業	簡易	36
健康推進課	地域医療の充実	21011	賦課徴収管理費	賦課徴収経常管理費	簡易	37
健康推進課	地域医療の充実	21041	一般被保険者療養給付費	一般被保険者療養給付費	簡易	38
健康推進課	地域医療の充実	21046	退職被保険者等療養給付費	退職被保険者等療養給付費	簡易	39
健康推進課	地域医療の充実	21051	一般被保険者療養費	一般被保険者療養費	簡易	40
健康推進課	地域医療の充実	21056	退職被保険者等療養費	退職被保険者等療養費	簡易	41
健康推進課	地域医療の充実	21066	一般被保険者高額療養費	一般被保険者高額療養費	簡易	42
健康推進課	地域医療の充実	21071	退職被保険者等高額療養費	退職被保険者等高額療養費	簡易	43
健康推進課	地域医療の充実	21072	一般被保険者高額介護合算療養費	一般被保険者高額介護合算療養費	簡易	44
健康推進課	子育て支援の充実	21081	出産育児一時金	出産育児一時金	簡易	45
健康推進課	地域医療の充実	21086	葬祭給付費	葬祭給付費	簡易	46
健康推進課	地域医療の充実	21091	一般被保険者移送費	一般被保険者移送費	簡易	47
健康推進課	地域医療の充実	21094	傷病手当金	傷病手当金	簡易	48
健康推進課	地域医療の充実	21201	一般被保険者医療給付費分	一般被保険者医療給付費分	簡易	49
健康推進課	地域医療の充実	21203	一般被保険者後期高齢者支援金等分	一般被保険者後期高齢者支援金等分	簡易	50
健康推進課	地域医療の充実	21205	介護納付金分	介護納付金分	簡易	51
健康推進課	地域医療の充実	22031	施設経常管理費	奥津直診施設経常管理費	簡易	52
健康推進課	地域医療の充実	22032	施設経常管理費	上齋原直診施設経常管理費	簡易	53
健康推進課	地域医療の充実	22033	施設経常管理費	上齋原歯科施設経常管理費	簡易	54
健康推進課	地域医療の充実	22034	施設経常管理費	富直診施設経常管理費	簡易	55
健康推進課	地域医療の充実	22035	施設経常管理費	富歯科施設経常管理費	簡易	56
健康推進課	地域医療の充実	22036	施設経常管理費	奥津歯科施設経常管理費	簡易	57
健康推進課	地域医療の充実	22057	岡山県へき地医療拠点病院運営事業費	岡山県へき地医療拠点病院運営事業費(奥津医科)	簡易	58
健康推進課	地域医療の充実	22059	岡山県へき地医療拠点病院運営事業費	岡山県へき地医療拠点病院運営事業費(上齋原医科)	簡易	59
健康推進課	地域医療の充実	22071	医療用機械器具費	奥津直診施設医療用機械器具費	簡易	60
健康推進課	地域医療の充実	22072	医療用機械器具費	上齋原直診施設医療用機械器具費	簡易	61
健康推進課	地域医療の充実	22073	医療用機械器具費	上齋原歯科施設医療用機械器具費	簡易	62
健康推進課	地域医療の充実	22074	医療用機械器具費	富直診施設医療用機械器具費	簡易	63
健康推進課	地域医療の充実	22075	医療用機械器具費	富歯科施設医療用機械器具費	簡易	64
健康推進課	地域医療の充実	22076	医療用機械器具費	奥津歯科施設医療用機械器具費	簡易	65
健康推進課	地域医療の充実	22081	医療用消耗器材費	奥津直診施設医療用消耗器材費	簡易	66
健康推進課	地域医療の充実	22082	医療用消耗器材費	上齋原直診施設医療用消耗器材費	簡易	67
健康推進課	地域医療の充実	22083	医療用消耗器材費	上齋原歯科施設医療用消耗器材費	簡易	68
健康推進課	地域医療の充実	22084	医療用消耗器材費	富直診施設医療用消耗器材費	簡易	69
健康推進課	地域医療の充実	22085	医療用消耗器材費	富歯科施設医療用消耗器材費	簡易	70
健康推進課	地域医療の充実	22086	医療用消耗器材費	奥津歯科診療所医療用消耗器材費	簡易	71
健康推進課	地域医療の充実	22091	医薬品衛生材料費	奥津直診施設医薬品衛生材料費	簡易	72
健康推進課	地域医療の充実	22092	医薬品衛生材料費	上齋原直診施設医薬品衛生材料費	簡易	73
健康推進課	地域医療の充実	22093	医薬品衛生材料費	上齋原歯科施設医薬品衛生材料費	簡易	74
健康推進課	地域医療の充実	22094	医薬品衛生材料費	富直診施設医薬品衛生材料費	簡易	75

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
健康推進課	地域医療の充実	22095	医薬品衛生材料費	富歯科施設医薬品衛生材料費	簡易	76
健康推進課	地域医療の充実	22096	医薬品衛生材料費	奥津歯科施設医薬品衛生材料費	簡易	77
健康推進課	地域医療の充実	22101	検査料	奥津直診施設検査料	簡易	78
健康推進課	地域医療の充実	22102	検査料	上齋原直診施設検査料	簡易	79
健康推進課	地域医療の充実	22104	検査料	富直診施設検査料	簡易	80
健康推進課	地域医療の充実	22201	施設整備費	奥津直診施設施設整備費	簡易	81
健康推進課	地域医療の充実	22503	歯科保健事業費	上齋原歯科施設保健事業費	総合	82 - 83
健康推進課	地域医療の充実	22505	歯科保健事業費	富歯科施設保健事業費	総合	84 - 85
健康推進課	地域医療の充実	26001	総務一般管理費	総務経常管理費	簡易	86

事業番号	事務事業名	保健衛生総務経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02102	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	岡山県津山・英田圏域病院群病院運営費補助金に関する規	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	消耗品費(コピー代・参考図書・健康情報誌)支払い 旅費支払い 保健センター修繕依頼および支払い 通信運搬費の支払い 備品購入準備および支払い 各種負担金の支払い	H18年8月31日に従来の「県北地域医療推進対策協議会」が解散。「二次救急医療運営補助金」に名称が変更。津山市が事務局:負担金を支払っている。昭和54年に県内の保健師相互の連絡調整を図り、資質向上に努めている。(市町村栄養士も同様昭和54年の設立)

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	職員	→	ア	人	見込	13	13	14	12	12
					実績	13	13	13		
イ		→	イ	人	見込	1	1	1	1	1
					実績	1	1	1		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	専門職としての知識の習得	→	ア	回	目標	10	10	10	10	10
					実績	13	13	6		
					達成率	130.0%	130.0%	60.0%		60.0%
イ	二次救急医療を受けてもらう	→	イ	施設	目標	2	2	2	2	2
					実績	2	2	2		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	研修会参加	→	ア	人	目標	32	32	32	32	32
					実績	23	19	39		
					達成率	71.9%	59.4%	121.9%		121.9%
イ	カレンダー作成	→	イ	回	目標	1	0	0	0	0
					実績	0	0	0		
					達成率	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名				事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		01	03	保健衛生総務経常管理費				
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財			466			466			
一般財源	1,749	1,077	1,066	882	882	-11	一般財源	1,498	940	321	882	882	-619		
合計	1,749	1,077	1,066	882	882	-11	合計(A)	1,498	940	787	882	882	-153		
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2	2			
	延べ業務事務時間						10	10	10	10	10	10			
	人件費計(千円)(B)						33	34	34	34	34	1			
	最終予算額	1,066 千円		予算執行率	73.8%		トータルコスト(A+B)	1,531	974	821	916	916	-152		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
見直し余地がある	向上余地がある	R4年度は保健福祉課が3つの課に分かれ、保健活動専門職員の管理は十分できなかった。保健師数について、2名が産休育休のため実働は11名(1名社協に外向)。新人保健師1名が12月末退職した。オンラインによる研修会や会議に参加して、資質向上に努めた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	愛育委員活動費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02110	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町愛育委員会規則	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	R4年度は任期最後の年として、コロナ禍の中でも研修会をZoomで行う等密にならない工夫を行った。結核予防普及啓発街頭キャンペーンも各地域の行事に合わせて地区の委員が行うなど5箇所で行った。地域での活動も感染予防をし昨年よりは多くの集いの場などで熱中症予防や、メンタルヘルスの相談紹介チラシなど配布を行った。また、地域での見守りや声かけなど、できる範囲で活動を実施した。	母子保健活動は明治時代に始まった。昭和25年に岡山県内で初の組織が誕生。現在は母子保健活動を含めた住民の健康づくりの活動へと変わっている。「自分の健康は自分でつくる」「誰もが安心して暮らせる地域づくり」等の推進を行っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 愛育委員受け持ち地区民	ア 人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ 委員	イ 委員数	人	見込	158	154	154	154	150
			実績	154	154	154		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 健康に関する意識が高まり、健康で明るい生活を送れるようにする	ア 訪問、声かけの件数(愛育委員活動記録)	%	目標	5,000	5,000	5,000	5,000	
			実績	10,754	4,207	4,240		
			達成率	215.1%	84.1%	84.8%		#DIV/0!
イ 地域に暮らす人を意識し、行政とのパイプ役となる	イ 研修会等の参加率	件	目標	80	80	80	5,000	
			実績	0	75	66		
			達成率	0.0%	93.8%	82.5%		#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 研修会、禁煙・結核予防活動、地区健康教室	ア 研修会、地域での集いの回数	回	目標	15	15	15	15	15
			実績	30	5	6		
			達成率	200.0%	33.3%	40.0%		40.0%
イ 地域での声掛け、訪問	イ 地域での声かけ・訪問回数	回	目標	33	33	33	33	
			実績	25	0	251		
			達成率	75.8%	0.0%	760.6%		#DIV/0!
ウ 理事会での協議事項を検討し町の活動方向の決定	ウ 会議(理事会および幹事会)開催数	回	目標	9	9	9	9	
			実績	7	8	11		
			達成率	77.8%	88.9%	122.2%		#DIV/0!



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業 中事業 02 01	予算上の事業名					事業番号 02110
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費			愛育委員活動費					
予算(千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算(千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	19						その他特財								
一般財源	416	412	466	412	412	54	一般財源	289	250	276	270	270	26		
合計	435	412	466	412	412	54	合計(A)	289	250	276	270	270	26		
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2	2	2		
	延べ業務事務時間						115	115	120	130	130	130	5		
	人件費計(千円)(B)						384	385	411	437	437	437	25		
	最終予算額		466 千円		予算執行率		59.2%		トータルコスト(A+B)		673	635	687	707	707

事業番号	02110	事務事業名	愛育委員活動費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	---------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・地域の高齢化により委員の選出が難しくなっている。またアパートや表札のない家も増えてきており地域が見えにくい現状になっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
・研修の機会をとらえ今後の在り方をアンケートしている。また区長幹事に説明を行い、地域での割り当て人数や委員のあり方をアンケートした。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
・地域や仕事量に合わせた人数にしてほしい。(地域で話し合うなら改選の1年位前から)愛育栄養を1人でもよいのでは。との意見が出ている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	全ての世代の住民に対して、健康づくりを推進することは施策に結びついている。愛育委員が健康づくりを推進するためにも、町の現状や健康課題を委員に示すことが必要。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	町民の健康づくりを進めるうえで、地域住民でもある愛育委員が健康づくりに関する活動や情報発信を行うことは、行政だけではカバーできない部分を補うことができる。委員の組織育成も重要な必要事項である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	全ての住民を対象にしていることは適切である。委員が地域の方々の健康づくりへの取り組みや活動を行っている事の意識づけを行う必要がある。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	任期中2年間はコロナでほぼ活動ができなかった。最終年度は町の研修会や地区活動も少し行うことができたが、愛育委員活動の内容や意義を今後につなげられるような働きかけが必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	地域力の強化が必要とされており、地域の実情に応じた活動や目配り気配り等聞け細かい活動を行っている委員は他にないものであり必要。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	幹事会や地区委員会等で委員と共に活動内容の確認を行い、必要に応じて改善を図る。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	研修会などは実施方法や講師選定を工夫することで予算を抑えることは可能。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	事務局担当職員で協力して最小限の時間で対応に努力している。地区活動については地区担当保健師が主となり活動している。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	区長推薦により委員の選出がなされており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	愛育委員という組織により、地域での細かな見守りや声かけ、健康づくりの普及啓発は行政ではカバーできない地域の医院だからこそできることである。コロナ禍でも行政との両輪で、町や地域での健康づくり、メンタルヘルス研修を受けて相談窓口の必要性を感じ普及啓発活動を積極的に進めることができおり重要な組織である。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 令和4年度で任期終了となるが、愛育委員活動の必要性を理解し任期終了後も自身や地域の健康づくり活動に協力できるようにする。今年度に引き続き地域の実情によって委員数を地域で検討するように勧めていく。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
愛育委員自身が活動の内容や目的、必要性を理解できるように幹事会、地区委員会、研修会を実施して行く。愛育委員活動について地域での理解が深まるように、各種団体と連携した活動を行うように努めていく。																									

事業番号	事務事業名	栄養委員活動費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02115	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町栄養委員会規則	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	現栄養委員は3年目(任期3年)。栄養委員の活動としては、町主催の栄養教室や県主催の研修会への参加、公民館事業の協力、地区活動への参加等があり、地区住民に対して食を通じた健康づくり活動を行う。〈業務内容・手順など〉栄養委員が地区で健康づくりの普及啓発を行えるよう、栄養委員の組織育成(栄養教室の企画・運営)を行い、学んだことを地区へ伝達する地区活動を行えるよう援助を行う。 令和4年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を制限する地区もあったが、多くの地区がお弁当づくり・チラシ配布等の訪問活動を中心に伝達活動を行った。	昭和33年山陽町に栄養改善組織が誕生。以降各市町村へ広がった。「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに町民一人ひとりが充実した豊かな人生を過ごせるよう食生活改善活動や健康づくりのための運動活動を行う健康づくりボランティア。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ 栄養委員	イ 栄養委員数	人	見込	128	128	128	122	122
			実績	128	128	127		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生活習慣病を予防し、健康に生活を送ってもらう	ア 地区での声掛け、訪問、集会への参加者	人	目標	9,680	3,000	4,000	3,500	4,000
			実績	2,186	3,275	3,563		
			達成率	22.6%	109.2%	89.1%		89.1%
イ 栄養や食生活習慣についての知識や関心を深めてもらう	イ 栄養教室の受講率	%	目標	70	80	80	80	80
			実績	77	81	77		
			達成率	110.0%	101.3%	96.3%		96.3%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地域での健康づくり普及啓発活動	ア 地区活動の実施回数	回	目標	768	768	768	768	768
			実績	566	1,254	990		
			達成率	73.7%	163.3%	128.9%		128.9%
イ 栄養委員の組織育成	イ 栄養委員研修会等への参加者人数	人	目標	211	350	350	350	350
			実績	346	104	317		
			達成率	164.0%	29.7%	90.6%		90.6%
ウ	ウ 栄養教室開催回数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績	2	1	3		
			達成率	66.7%	33.3%	100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大 03		中 01		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費						栄養委員活動費		
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	796	713	852	840	840	139	一般財源	687	326	705	840	840	379		
合計	796	713	852	840	840	139	合計(A)	687	326	705	840	840	379		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	960	960	810	800	800	-150		
							人件費計(千円)(B)	3,209	3,216	2,771	2,690	2,690	-445		
	最終予算額	852 千円		予算執行率	82.7%		トータルコスト(A+B)	3,896	3,542	3,476	3,530	3,530	-66		

事業番号	02115	事務事業名	栄養委員活動費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	---------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
地区の高齢化や委員の世代交代(働き世代の委員が増加)により委員の選出が難しくなっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
令和5年度の委員改選に向けて委員や区長幹事へ組織体制(人数や地区の割り当て等)についてアンケートを実施。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
アンケート結果より半数の委員が任期の短縮を希望している。また委員の世代交代がある中で、約2割の委員が地区との連携が難しい、仕事との両立難しいと感じていた。その他にも愛育と栄養と合同にしてはどうか、委員の減員に関する声も寄せられている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 町民の方が、いつまでも健康な日々を過ごすためには一人一人の健康問題を地域のみで解決しようとする活動が必要である。本人だけでなく、家族、友人、ご近所さんへと働きかけ、仲間とふれあを通じて地域ぐるみのより良い食習慣づくりと繋げ、健康な状態で暮らしてもらおうという施策に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 行政機関の行う事業・行事の参画、住民や他団体との協働の2本柱で住民の健康づくりに取り組んでおり、妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 全町民を対象としており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 新型コロナウイルス感染症の流行による、委員活動の制限も徐々に緩和され、町や地区での行事が再開しつつある。そのような場を活用し、より多くの方へ健康に関する啓発活動を実施していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 健康づくりは地域づくりを進めていくことが不可欠である。栄養委員活動は、行政が行えない地域の細部で活動を行っており、より身近な食を通じた健康づくりの担い手として、健康づくりの推進を行っているため。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 幹事会や地区委員会等で委員と共に活動内容について確認、改善を行う。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 栄養教室の運営、地区活動必要物品等成果向上のためには、削減は難しい。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 栄養委員活動は栄養士だけでなく、地区担当保健師、愛育委員、地区住民等と協力し、活動を行うことが多い。栄養委員と共に地区の現状に沿ったより良い活動を進めていくため民間委託等による削減は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 地域から栄養委員を選出し、全町民を対象に行っており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	栄養委員の活動は、行政だけでは行えない地域の細部での活動を補うことができる。栄養委員と地域の結びつきをより密にし、正しい食生活の取り組みを行うことにより、健康に対する知識を高め、鏡野町の健康水準の向上につなげることができる。一方で地区住民からは栄養委員の担い手不足、仕事や子育てをすす中で委員活動は難しいといった声もある。令和5年度の委員改選に向けて委員体制について検討していく必要がある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 委員体制については、地区の要望により減員を検討していく。委員の育成については、栄養教室に実践的な内容を組み込み(調理実習を再開を検討)、委員の資質の向上に努める。幹事会や地区委員会等々で活動を確認し、住民一人一人の健康に対する意識の向上を図る。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
委員の担い手不足等、情勢に応じた変化が求められる中で委員が継続して活動できるよう、活動内容や体制等、委員や委員選出に関する地区の声(区長等)を考慮し検討していく必要がある。																									

事業番号	事務事業名	骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成事業	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02250	政策名	1	係名	健康係	担当者・シート作成者	小柳 晴子
	施策名	12	根拠法令等	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	1、制度の周知(広報紙・ホームページへの掲載) 2、日本骨髄バンクが実施する事業において骨髄の提供が終了した者が対象者 3、町内に住所があるドナーへの助成事業 ・通院1日当たり 5,000円×日数 ・入院1日当たり20,000円×日数 (1回の骨髄等の提供につき10万5千円を限度)	白血病や再生不良性貧血などの難病治療には骨髄・末梢血幹細胞の移植が必要。しかしドナー登録後、仕事などの理由で提供まで至らない現状があるため、提供しやすい環境を創る必要がある。H28年4月県が助成制度を開始。県内すべての市町村で制度を作るように県からの要望があった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民(18歳以上54歳以下)	ア 登録者該当人口(4月1日)外国人含む	人	見込 実績	4,394 4,394	4,493 4,493	4,500 4,478	4,500	4,500
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 骨髄ドナー登録者になってもらう	ア 岡山県内の登録者(年度末) 都道府県別登録者数:日本骨髄バンクネット検索。市町村別は個人情報関係で不明	人	目標 実績 達成率	9,041 9,041 100.0%	9,401 9,401 100.0%	9,567 9,567 100.0%	9,600	9,700 98.6%
イ	イ 町民のドナー提供者数 (町の助成事業を活用しての)	人	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 啓発活動	ア 広報紙・町のホームページ等への掲載	回	目標 実績 達成率	2 1 50.0%	1 1 100.0%	1 3 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		25	01	骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成事業					
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金	52	52	52	52	52	県支出金				52	52					
町債						町債										
その他特財						その他特財										
一般財源	58	53	53	53	53	一般財源				53	53					
合計	110	105	105	105	105	合計(A)				105	105					
財源名称	岡山県骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成費補助金					従事正職員人数	1	1	1	1	1					
						延べ業務事務時間	8	8	8	8	8					
						人件費計(千円)(B)	27	27	27	27	27	1				
	最終予算額		105 千円	予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)	27	27	27	132	132	1			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	事業の実績のためには、事業の周知啓発が必要。今年度は、広報紙での周知ができなかった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	骨髄・末梢血幹細胞ドナー事業所助成事業	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02251	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康係	担当者・シート作成者	小柳 晴子
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	移植に用いる造血幹細胞の適切な推進に関する法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	1、制度の周知(広報紙・ホームページ掲載) 2、日本骨髄バンクが実施する事業において骨髄の提供が終了した者が対象 3、町内に住所があるドナーを雇用している国内の事業所への助成事業 ・休業1日当たり、1万円(9日間) ・ドナーが事業所に言わない限りわからないケースもある。 4、岡山県骨髄・末梢血幹細胞ドナー助成補助金の交付申請(1/2の補助)	白血病や再生不良性貧血などの血液の難病治療には、骨髄・末梢血幹細胞の移植が必要。しかしドナー登録後、仕事などの理由で骨髄の提供まで至らない現状があるため、提供しやすい環境を創ることが必要。H28年4月、岡山県が助成制度を開始。県内すべての市町村で制度を創るよう県から要望があった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民(18歳以上から54歳以下)	ア 登録者該当年齢人口(4月1日)外国人含む	人	見込 実績	4,441 4,441	4,394 4,394	4,500 4,478	4,500	4,500
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア ドナー登録者になってもらう	ア 町民のドナー提供者数(町の助成事業を活用しての)	人	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ 事業所からの申請数		目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 啓発活動	ア 広報紙・ホームページ等掲載		目標 実績 達成率	2 1 50.0%	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		25	02	骨髄・末梢血幹細胞ドナー事業所助成事業					
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金	45	45	45	45	45	県支出金				45	45					
町債						町債										
その他特財						その他特財										
一般財源	45	45	45	45	45	一般財源				45	45					
合計	90	90	90	90	90	合計(A)				90	90	0				
財源名称	岡山県骨髄末梢血幹細胞ドナー助成費補助金					従事正職員人数	1	1	1	1	1					
						延べ業務事務時間	8	8	8	8	8					
						人件費計(千円)(B)	27	27	27	27	27	1				
	最終予算額		90 千円	予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)	27	27	27	117	117	1			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	事業の実績のためには、事業の周知啓発が必要。今年度は、広報紙での周知ができなかった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	予防接種費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02320	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	予防接種法	光嶋 康子

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	目的: 感染症予防・発病防止・症状の軽減・病気のまん延防止 種類: B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、BCG、麻しん風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、ポリオ、子宮頸がん予防ワクチン(2価・4価に加えR5.4~9価も認可)、高齢者用肺炎球菌ワクチン、ロタ(R2. 10~) 接種方法: 医療機関で個別接種。県内相互乗り入れ制度で県内接種可能。県外接種の場合は償還払対応。 内容・手順など: 予防接種年間計画の作成・町内予防接種委託医療機関・県医師会との契約・連絡調整・支払事務・保護者等への相談アドバイス・接種者パソコン入力管理・予防票印刷。	感染症がまん延し、大きな被害を与える時代があり、感染症予防・発病防止目的で全国的に予防接種を実施。積極的な接種動向により、感染症は激減傾向となる。現在、定期の予防接種は市町村長が行うこととなっている。現在も新しいワクチンが定期へと

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 定期予防接種の対象者	ア 生後90か月未満の者	人	見込 実績	700 886	700 616	700 846	800	800
イ	イ 年度内に65歳を迎える者	人	見込 実績	200 270	200 201	200 301	310	320
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 感染及び発症の予防、病気のまん延防止	ア 麻しん風しん混合(MR)2期接種率	%	目標 実績 達成率	95 90 94.9%	95 82 86.3%	95 91 95.8%	95	95 95.8%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 通知・広報(対象者への周知)	ア 各予防接種の接種者数(延)の合計	人	目標 実績 達成率	2,800 2,901 103.6%	2,800 2,509 89.6%	2,800 5,697 203.5%	5,500	5,500 103.6%
イ 医療機関・医師会との調整	イ 医療機関・医師会との調整回数	回	目標 実績 達成率	22 22 100.0%	22 18 81.8%	22 18 81.8%	22	22 81.8%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		予防接種費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金		1,250				-1,250			
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	29,222	24,731	26,584	49,256	1,853	一般財源	25,189	23,259	26,297	26,193	26,193	3,038			
合計	29,222	24,731	26,584	49,256	1,853	合計(A)	25,189	24,509	26,297	26,193	26,193	1,788			
財源名称	従事正職員人数		8	9	2	2	2	-7							
	延べ業務事務時間		728	450	450	450	450								
	人件費計(千円)(B)		2,434	1,508	1,539	1,513	1,513	32							
	最終予算額	26,584 千円	予算執行率	98.9%	トータルコスト(A+B)	27,623	26,017	27,836	27,706	27,706	1,820				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	最近では海外渡航者からの感染症の流行が見られるようになった。改めて予防接種の必要性和定期接種時期の接種動向を保育園・こども園・学校と連携して啓発する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	肺炎球菌ワクチン予防接種事業	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02321	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	行政専門員	担当者・シート作成者	光嶋 康子
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業実施要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	肺炎球菌による肺炎予防のために、接種費用の助成(1人生涯1回限り、8,770円)を行う。任意接種。助成を希望する者の事前申請手続き(平成23年1月より肺炎球菌システム利用、情報公社へ委託し毎月11,000円支払)が必要。町外医療機関医で接種した場合は償還払い。	日本の死因で肺炎は3位である。肺炎球菌は日常生活でかかる「肺炎」の25~40%であり、高齢者の重症化を防ぎ、肺炎死亡リスクを減少させるため開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 65歳以上の高齢者	ア 65歳以上の被接種対象者数	人	見込 実績	700 600	700 871	700 544	700	
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 肺炎球菌による肺炎感染を予防	ア 被接種者数	人	目標 実績 達成率	50 25 50.0%	30 224 746.7%	50 180 360.0%	150	#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 申請・助成券発行受付	ア 申請・助成券発行数	件	目標 実績 達成率	50 12 24.0%	30 10 33.3%	50 9 18.0%	50	#DIV/0!
イ 広報活動	イ 健康教室等でのPR回数	回	目標 実績 達成率	10 2 20.0%	10 0 0.0%	10 0 0.0%	10	#DIV/0!



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 04 衛生費		項 01 保健衛生費		目 02 予防費		予算上の事業名 肺炎球菌ワクチン予防接種事業						事業番号 02321
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	442	429	440	396	396	11	一般財源	305	176	211	210	210	35		
合計	442	429	440	396	396	11	合計(A)	305	176	211	210	210	35		
財源名称							従事正職員人数	7	7	2			-5		
							延べ業務事務時間	80	70	75			5		
							人件費計(千円)(B)	267	235	257			22		
	最終予算額		440 千円		予算執行率		47.9%	トータルコスト(A+B)		572	411	468	210	210	57

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・町の助成は一生に1度になるため毎年5歳きざみで未利用者へ説明と問診票を送付している。医療機関からの勧めもあり毎年一定数の方が利用できている。広報は各医療機関に今年の対象者表を貼っていただき啓発している。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	インフルエンザワクチン接種事業	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02325	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	光嶋 康子
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	季節性インフルエンザワクチン接種の接種費用助成。接種により、個人予防に努め、集団流行を防ぐことを目的とする。接種時期は、10月~1月。平成29年度から全額助成とした(現4,220円)。R2年度は新型コロナウイルス感染症により県の助成事業があったが、R3年度はなし。R2年度より津山市と相互の乗り入れ契約を行い事務処理の軽減を図った。	平成13年予防接種法一部改正により、高齢者(65歳以上)を対象とするインフルエンザワクチンを予防接種法に基づく予防接種として行うこととなった。平成21年には、新型インフルエンザの流行により、ワクチンも追加され、平成23年度からは通常の季節性インフルエンザに変更。乳幼児については、平成17年より被接種者への助成を

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	乳幼児から中学生まで	→	ア	人	見込	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
					実績	376	1,563	1,659		
イ	B類定期対象者(65歳以上)	→	イ	人	見込	4,694	4,788	4,720	4,720	4,720
					実績	4,757	4,507	4,762		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	感染及び発症の予防、まん延防止	→	ア	%	目標	57	57	57	57	57
					実績	不明	53	41		
					達成率	#VALUE!	92.5%	72.6%		72.6%
イ		→	イ	%	目標	60	60	60	60	60
					実績	76	70	67		
					達成率	127.2%	116.8%	111.7%		#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	通知・広報(対象者への周知)	→	ア	人	目標	4,300	4,800	4,800	4,800	4,300
					実績	6,749	4,646	3,142		
					達成率	157.0%	96.8%	65.5%		73.1%
イ	医療機関・医師会との調整	→	イ	回	目標	9	9	9	9	9
					実績	9	9	9		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		インフルエンザワクチン接種事業						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金	20,000						20,000		16,226			16,226			
県支出金															
町債															
その他特財															
一般財源	18,061	19,174	19,999	20,648	20,648	825	8,422	19,162	1,977	20,648	20,648	-17,185			
合計	38,061	19,174	19,999	20,648	20,648	825	合計(A)	28,422	19,162	18,203	20,648	20,648	-959		
財源名称	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				従事正職員人数		2	2	2	1	1				
					延べ業務事務時間		170	150	160	130	130	10			
					人件費計(千円)(B)		568	503	547	437	437	45			
	最終予算額		19,999 千円		予算執行率		91.0%		トータルコスト(A+B)		28,990	19,665	18,750	21,085	21,085

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	受診者数の減少は、新型コロナウイルスのため受診控えがあったことと関係していると思われる。来年度はコロナとともにインフルエンザも予防のためのワクチン接種を進める。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	成人の風疹予防接種事業	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02326	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	光嶋 康子
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町風しん任意予防接種費用助成事業実施要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	医療機関で無料抗体検査(岡山県事業)を受けた結果、または過去の妊婦健診等の結果、風しんの抗体価が低い方を対象に、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合(MR)ワクチンを無料接種。町内医療機関で接種の場合は医療機関から町へ支払請求、町外の場合は接種者が全額自己負担後、町へ償還給付申請の提出が必要。	平成25年、風しんが全国的に流行した。妊娠初期の妊婦が罹患すると胎児が心疾患・白内障・難聴などの障害を持つ「先天性風しん症候群」となる可能性があり、予防のためには風しんワクチンの接種が不可欠である。風しん予防接種は生年により接種率が低いか、接種の機会すらなかった年代もあり、岡山県は平成26年度から風しんの

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 妊娠を希望している女性	ア 母子健康手帳交付者数	人	見込 実績	90 89	90 75	90 83	90	
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 先天性風しん症候群の発生予防	ア 岡山県事業による抗体検査実施者数	人	目標 実績 達成率	30 23 76.7%	30 11 36.7%	30 6 20.0%	30	#DIV/0!
イ 風しんの流行を予防	イ 風しんワクチン等接種(助成)者数	人	目標 実績 達成率	20 7 35.0%	20 8 40.0%	20 15 75.0%	20	#DIV/0!

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 広報活動	ア 広報誌等掲載回数	回	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 1 50.0%	2 1 50.0%	2	#DIV/0!
イ 啓発活動	イ 妊娠届出時、赤ちゃん訪問時等での啓発人数	人	目標 実績 達成率	180 178 98.9%	180 164 91.1%	180 140 77.8%	140	#DIV/0!



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		成人の風疹予防接種事業						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	400	400	174	170	170	-226	一般財源	96	71	148	148	148	77		
合計	400	400	174	170	170	-226	合計(A)	96	71	148	148	148	77		
財源名称	従事正職員人数						2	2	2						
	延べ業務事務時間						70	30	40				10		
	人件費計(千円)(B)						234	101	137				36		
	最終予算額		174 千円		予算執行率		85.0%		トータルコスト(A+B)		330	172	285	148	148

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・最近では海外からの風しん持ち込みも見られ、散発的に小集団発生が見られており、予防接種の機会は妊娠を希望する方やその家族にとって重要
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	成人の風疹追加的対策事業	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02327	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	光嶋 康子
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	予防接種法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <small>(平成31年度～令和7年度)</small> <input type="checkbox"/> 単年度のみ	昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性にクーポン券を発送。昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれの男性は、希望があればクーポン券を窓口で交付。ワクチンの効率的な活用のため、抗体検査の結果、抗体価が十分でない者へ予防接種費用を助成する。H31年度からR3年度までの期間が、R4年度から3年間延長された令和4年度は昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に送付した。	令和元年度から3年間を目安に、全国的な風しんの感染拡大を防止するため、国の動向により定期接種の機会が1度もなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に実施。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
ア	昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性	ア	昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性	人	見込	503	400	400	400	400
					実績	503	435	387		
イ	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性	イ	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性	人	見込	606	500	861	861	861
					実績	606	468	474		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
ア	風しん抗体検査受検率の向上	ア	風しん抗体検査受検率	%	目標	40	40	40	45	45
					実績	15	37	51		
					達成率	38.5%	92.5%	127.5%		113.3%
イ		イ	抗体検査実施者のうち、予防接種の接種率	%	目標	95	95	95	95	95
					実績	41	49	13		
					達成率	43.2%	51.2%	13.7%		13.7%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
ア	広報活動	ア	広報誌等掲載回数	回	目標	2	2	2	2	2
					実績	1	1	1		
					達成率	50.0%	50.0%	50.0%		50.0%
イ	啓発活動	イ	個別通知、健診案内時に啓発	回	目標	2	2	2		
					実績	1	1	1		
					達成率	50.0%	50.0%	50.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		成人の風疹追加的対策事業						
2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度見込	前年比	決算(千円)	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度見込	前年比			
国庫支出金	968	723	597	200	200	-126	国庫支出金	1,190	938	597	200	200	-341		
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,055	1,415	1,672	649	649	257	一般財源	604	569	882	1,479	1,479	313		
合計	2,023	2,138	2,269	849	849	131	合計(A)	1,794	1,507	1,479	1,679	1,679	-28		
財源名称	疾病予防対策事業費等補助金						従事正職員人数	3	2	2	1	1			
							延べ業務事務時間	90	90	100	90	90	10		
							人件費計(千円)(B)	301	302	342	303	303	41		
	最終予算額		2,269千円		予算執行率	65.1%		トータルコスト(A+B)	2,095	1,809	1,821	1,982	1,982	13	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・今年度対象者のうち未受診者、抗体検査後未接種者860人へ4月にクーポン券を再発行し郵送による個別勧奨を行った。その後の勧奨としては12月に広報紙で受診勧奨を行ったが、来年度は健診時や職場健診時にも使用できることを再度勧奨を行うこととする。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	がん検診等事業費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02355	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	健康増進法	甲藤 恵理子

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①集団・個別での各種がん検診、一般健診の実施 ②保健師、栄養士による健康教育、訪問指導の実施	平成14年～健康増進法に基づき、疾病予防、健康増進、がんの早期発見を目的に健康教育や訪問指導、がん検診などの事業を実施。健康増進法の前は、老人保健法(昭和57年施行)により実施してきた経緯あり。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 40歳以上の男女	ア 該当町民数	人	見込	8,550	8,434	8,400	8,300	8,300
			実績	8,550	8,434	8,367		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 住民自身が健康に関心を持ち、自分自身で健康管理を行う	ア 大腸がん検診受診率	%	目標	30	30	20	20	20
			実績	17	15	18		
			達成率	55.0%	50.0%	89.8%		89.8%
イ	イ 子宮頸がん検診受診率	%	目標	30	30	20	20	20
			実績	14	14	15		
			達成率	46.7%	46.7%	75.0%		75.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 集団検診の実施	ア 集団検診(全がん検診)実施回数	回	目標	10	16	14	13	13
			実績	23	16	14		
			達成率	230.0%	100.0%	100.0%		107.7%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		中事業 09		中事業 01		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		がん検診等事業費		がん検診等事業費		がん検診等事業費		
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	02355	
国庫支出金	125	112	7,399	125	125	7,287	国庫支出金	125	1,162	7,199	125	125	6,037		
県支出金	125	112	209	125	125	97	県支出金	125	224	209	125	125	-15		
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	33,312	27,710	20,356	32,045	32,500	-7,354	一般財源	24,289	24,892	19,640	32,045	32,500	-5,252		
合計	33,562	27,934	27,964	32,295	32,750	30	合計(A)	24,539	26,278	27,048	32,295	32,750	770		
財源名称	疾病予防対策事業費補助金						従事正職員人数	9	9	5	5	5	-4		
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国庫)						延べ業務事務時間	750	750	800	800	800	50		
							人件費計(千円)(B)	2,507	2,513	2,737	2,690	2,690	224		
	最終予算額		27,964 千円	予算執行率	96.7%		トータルコスト(A+B)	27,046	28,791	29,785	34,985	35,440	994		

事業番号	02355	事務事業名	がん検診等事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
健康増進法に基づき実施しているがん検診においては、がん罹患率・死亡率が増加している状況であり、検診の必要性が高まっている状況である。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
集団検診と個別検診(令和1年度～胃内視鏡検査を追加)で受診しやすい環境を整えている。平成29年度から全ての検診無料化。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
「コロナ禍でがん検診を受診出来ていなかったため、受診しなければと思っていた。」という声もあり、受診希望者は多く、集団検診予約の定員数を増やして対応した。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 健康づくりの推進は、町の最重点施策であり、特定健診とあわせて、がん検診においても同時実施できる環境を整えるなど、検(健)診受診率の向上に取り組み、町民の健康意識の向上に繋がっている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町の最重点施策である健康づくりを推進するための事業であり、健康増進法に基づき実施しており、町が実施主体である。病気の早期発見につなげるため、集団検診・個別検診それぞれの受診環境の整備・周知を行うためには、町が関与する必要がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 健康増進法に基づき対象者を設定しており、対象者の設定は妥当である。町が独自に実施している5がん以外の検(健)診においても町の現状と成果から検討し、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 特定健診など同時に実施する集団検診においては、周知方法など連携することにより成果向上を目指す。個別検診においては、病院における受入可能人数もあることから早目の受診を呼びかけする必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 がん検診は、健康増進法に基づき実施されており、廃止・休止することは困難。廃止・休止に伴い、町民の健康状態悪化を招く恐れがある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 各種がん検診において、町民がわかりやすい方法で周知するとともに、受診勧奨の機会を捉えてPRする他、集団検診のキャンセル者へ次回の検診を案内するなど、細やかな対応を行う。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 町の現状に見合った検診業者は他に見つからないため、削減困難。業者と打合せを重ね、検診日数を減らす、予約者数を増やし、効率的な検診実施としたことにより受診希望者を受け入れる体制を確保した。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 健康推進課になり最小人数で集団検診を実施している。これ以上の削減余地はないと考える。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町民全体へ対象となる検診について個別通知で周知しており、受益機会は公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	健康づくりの推進は、町民が健康に働き続けるためにも重要な施策であり、20～30歳代健診、一般健診を実施し、早くからの健康意識の向上、幅広い対象の健康維持・向上に取り組んでいる。がん検診においては、コロナ禍の影響があり、令和2・3年度は受診者数が減少していたが、令和4年度は概ね3年度を上回る受診者数となっている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 健康づくりは町の最重点施策であり、さらに受診率の向上を目指す。コロナ禍での受診控えなどがあったことから、今後、本事業においては、広報等の周知方法をわかりやすくするなど、これまで受診出来ていない対象者へも周知を徹底する。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
検(健)診の内容が複雑化しているため、パンフレットや広報についても、対象者に伝わりやすくする必要がある。予約受付時の対応についても、職員へマニュアルを提示するなど、申込者が混乱しないように受付を行う。集団検診のキャンセル者へも、個別に電話で再勧奨を行うなど、受診勧奨を推進する。																									

事業番号	事務事業名	後期高齢者健康診査事業費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02356	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者	吉田 怜未
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	対象となる概ね75歳以上の後期高齢者健診対象者に受診券を準備。令和2年度から愛育委員による配布ではなくすべて郵送により送付。町内各会場で受ける集団健診は6月と10~11月に時期を分けて実施。医療機関で受ける個別健診は6~1月までで町内医療機関のみであった個別健診実施医療機関を令和3年度から津山市の医療機関にも広げ、後期高齢者健診対象者についても申請により人間ドックの費用助成を実施した。	医療制度改革により、H20年度から「高齢者の医療確保に関する法律」において75歳以上の後期高齢者に対する健診は努力義務として位置づけられた。後期高齢者広域連合が実施主体となり、生活習慣病の早期発見、早期治療により重症化を予防することが目的とされている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 後期高齢者医療保険者	ア 被保険者(健診受診対象者)	人	見込	2,380	2,321	2,350	2,400	2,400
			実績	2,379	2,321	2,377		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 健診を受診し生活習慣病を予防し、健康寿命を延ばす	ア 受診者数(集団、個別、人間ドック費用助成)	%	目標	700	700	825	700	750
			実績	517	534	620		
			達成率	73.9%	76.3%	75.2%		82.7%
イ	イ 受診率	%	目標	35	35	35	30	35
			実績	22	23	26		
			達成率	61.7%	65.4%	74.3%		74.3%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 集団健診の実施	ア 実施回数	回	目標	11	17	17	11	11
			実績	15	15	12		
			達成率	136.4%	88.2%	70.6%		109.1%
イ 個別健診の実施	イ 委託機関数	機関	目標	8	8	60	58	58
			実績	9	60	58		
			達成率	112.5%	750.0%	96.7%		100.0%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		大事業 09		中事業 02		予算上の事業名				事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費						後期高齢者健康診査事業費				02356
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	前年比	前年比		
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金	41	41	28	30	30	-13	県支出金	41	26	28	30	30	2				
町債							町債										
その他特財	8,010	8,014	6,418	8,000	8,000	-1,596	その他特財	4,860	4,806	5,548	8,000	8,000	742				
一般財源	1,580	468	1,474	1,400	1,400	1,006	一般財源	697	1,193	1,474	1,400	1,400	281				
合計	9,631	8,523	7,920	9,430	9,430	-603	合計(A)	5,598	6,025	7,050	9,430	9,430	1,025				
財源名称	健康増進事業費補助金						従事正職員人数		9	9	5	5	5	-4			
	後期高齢者保健事業補助金						延べ業務事務時間		660	680	720	700	700	40			
							人件費計(千円)(B)		2,206	2,278	2,463	2,353	2,353	185			
	最終予算額 7,920 千円			予算執行率		89.0%	トータルコスト(A+B)		7,804	8,303	9,513	11,783	11,783	1,210			

事業番号	02356	事務事業名	後期高齢者健康診査事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 新型コロナウイルスの流行に伴い、集団健診の予約制を導入。感染症予防による受診の控えや予約制に伴い受診者は減少したが、集団・個別健診ともに徐々に増加しつつある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 平成29年度から健診の無料化。令和3年度から人間ドック費用助成制度(上限6,500円)の導入や個別健診の医療機関を拡大した(津山市医療機関を対象)。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 医療機関へ定期的を受診しているため、健診を受診しない。受診券も不要等。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 健康づくりの推進は、町の最重点施策であり、後期高齢者医療保険加入者の健康の保持・増進を図るためには、必要不可欠であり、健診は健康づくりの基盤となっている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 後期高齢者医療保険加入者の保険者は後期高齢者医療広域連合であり、町は広域連合より健診の委託を受けているため、町が実施する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 後期高齢者医療保険加入者を対象(長期不在、施設入所は除く)としており、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 定期的に医療機関へ受診しており、後期高齢者健診を受診されない方が多い。医療機関との連携や健診の必要性の周知方法を検討する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 被保険者の健康の保持増進及び疾病の発症、重症化の抑制を図ることが困難になる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 受診券発行を効率化により、業務時間の改善余地がある。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 健診の運営、健診の周知、必要物品の購入等、成果向上のためには削減は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 集団健診の予約制導入により、限られた人員で健診を運営することが実施可能となったが、各種がん健診、特定健診、後期高齢者健診、20~30歳代健診、一般健診(生保)を同日に行う集団健診を運営する上で、これ以上の削減は困難になる。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 後期高齢者医療保険加入者の保険者を対象に行っており、公平・公正である。	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	コロナ流行前の健診では、受診者は700人を上回っており、受診率も30%を超えていた。コロナ禍になり受診率は低下したものの、集団健診・個別健診ともに受診者は回復しつつある。また、令和3年度より、人間ドック費用助成を開始したことにより、人間ドック結果の情報提供が年々増加している。																						
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p>今後の改革改善案</p> <p>健康づくりは町の最重点施策であり、健診受診率の向上を目指す。健診未受診者のうち、かかりつけ医を持つため、健診を受診されない者が多い印象を受けるが、健康状態不明者(医療機関や健診受診歴がないもの)が一定割合存在する。そのため、まずは健診未受診者を対象に、健診の受診勧奨を行っていききたい。</p>																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
健診受診率の向上のため健診未受診者への受診勧奨を行う。 後期高齢者健診受診券の送付方法について(業務時間の改善)。																							

事業番号	事務事業名	新型コロナウイルス予防費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02381	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (2 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和2年2月7日より適用された「新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令」の制定により、感染症対策の取り組みが必要となった。 令和3年度の主な取り組みは、次のとおり。 1. 感染症に対する周知及び予防に対する啓発活動 2. 感染防止対策のリーフレット、消毒液の地区集会所への配布 3. 町民へのワクチン接種(啓発活動)	令和2年1月に、中華人民共和国から発生した「新型コロナウイルス感染症」が、世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有すると新たに報告されたため、日本国内で患者が発生した場合に備え、適切な医療や検疫体制など所要の措置を講じる必要が生じたため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町民	→	ア	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	
					実績	12,625	12,497	12,358		
イ		→	イ		見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	新型コロナウイルス感染症を予防する	→	ア	人	目標	0	0	0	0	
					実績	11	124			
					達成率	#DIV/0!	#DIV/0!			
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	啓発活動	→	ア	回	目標	12	12	12	12	
					実績	24	74	44		
					達成率	200.0%	616.7%	366.7%		#DIV/0!
イ	防疫活動	→	イ	戸	目標	5,700	0	0	0	
					実績	5,700	0	0		
					達成率	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		新型コロナウイルス予防費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	02381		
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金	4,000		244		244	国庫支出金	4,000	3,991	363			-3,628			
県支出金			244		244	県支出金		371	363			-8			
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	48,111	12,933	3,632	3,033	-9,301	一般財源	41,228	8,323	2,912	3,033		-5,411			
合計	52,111	12,933	4,120	3,033	-8,813	合計(A)	45,228	12,685	3,638	3,033		-9,047			
財源名称	地方創生臨時交付金				従事正職員人数		2	2	2	2					
					延べ業務事務時間		1,000	1,000	1,000	1,500					
					人件費計(千円)(B)		3,343	3,350	3,421	5,043		71			
	最終予算額		4,120 千円		予算執行率		88.3%		トータルコスト(A+B)		48,571	16,035	7,059	8,076	-8,976

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	5・8月には、第6波・第7波の感染が拡大した。学校・保育園・児童クラブ・役場関係部署において、消毒物品や感染対策に係る物品購入を行った。感染拡大時には告知放送等で注意を呼びかけた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02382	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (2 年度~ 5 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	・「新型コロナウイルス感染症」予防のためにワクチンを接種するための体制を整備し、県の「ワクチン対策室」と県内市町村でウェブ会議を重ね、岡山県は県内相互乗り入れを行う事等を決めた。町では予約コールセンターの立ち上げや接種現場の医師、看護師、事務の確保を行い、実施にあつては苫田郡医師会の協力を得て、個別接種及び集団接種を行った。12月からは3回目追加接種も行った。	・予防接種法(昭和23年法律第68号)附則第7条第1項に基づき「新型コロナウイルス」の蔓延防止をはかる為、令和3年度から接種を希望する町民が接種を受けることができる体制を整える必要がある。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 12歳以上町民	ア 該当町民数	人	見込 実績	11,589 11,589	11,447 11,346	11,346 12,358	11,346	
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 新型コロナウイルス感染症に罹患しない	ア 罹患患者数	人	目標 実績 達成率	0 11 #DIV/0!	0 124 #DIV/0!	0 1,200 #DIV/0!	0	#DIV/0!
イ 新型コロナ感染症の流行を予防する	イ 高齢者のワクチン接種率(オミクロン株)	%	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	85 86 100.9%	70 69 99.1%	91	#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 鏡野町新型コロナワクチン接種体制確保協議会の開催	ア 鏡野町新型コロナワクチン接種体制確保協議会の開催回数	回	目標 実績 達成率	5 4 80.0%	10 13 130.0%	10 7 70.0%	6	#DIV/0!
イ 新型コロナワクチン集団接種の実施	イ 集団接種の実施回数	回	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	70 93 132.9%	50 43 86.0%	48	#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費						
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金	43,141	64,773	78,958	4,072		14,185	国庫支出金	5,919	41,766	37,608	4,072		-4,158		
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源							一般財源		15,243	7,945			-7,298		
合計	43,141	64,773	78,958	4,072		14,185	合計(A)	5,919	57,009	45,553	4,072		-11,456		
財源名称	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金						従事正職員人数	2	2	3	2		1		
							延べ業務事務時間	200	800	1,000	200		200		
							人件費計(千円)(B)	669	2,680	3,421	672		741		
	最終予算額		78,958 千円	予算執行率	57.6%		トータルコスト(A+B)	6,588	59,689	48,974	4,744		-10,715		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	鏡野町接種体制確保協議会において、国の指針に基づいた接種方針を決めて実施した。高齢者の接種率は高いが若年層、小児、乳幼児は接種率が低い。感染症対策の周知と合わせて、ワクチン接種の啓発が必要。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02383	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康係	担当者・シート作成者	小柳 晴子
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について(

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (2 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の指示により、苫田郡医師会の協力のもと、医療機関での個別接種並びに町が行う集団接種を実施した。5月より1・2回目接種を実施し、12月からは3回目接種を行った。	・予防接種法(昭和23年法律第68号)附則第7条第1項に基づき「新型コロナウイルス」の蔓延防止をはかる為、必要とする町民すべてに接種を受けることができる体制を整え令和3年度から接種を行う必要がある為。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 12歳以上町民	ア 該当町民数	人	見込	11,589	11,447	11,447	11,447	
			実績	11,589	11,346	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 新型コロナ感染症の流行を予防する	ア 罹患者数	人	目標	0	0	0	0	
			実績	11	124	1,200		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!
イ 高齢者の9割以上の方が接種する	イ 高齢者の接種率(オミクロン株)	%	目標	0	85	70	91	
			実績	0	86	69		
			達成率	#DIV/0!	101.2%	99.1%		#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 鏡野町新型コロナワクチン接種体制確保協議会の開催	ア 鏡野町新型コロナワクチン接種体制確保協議会の開催回数	回	目標	5	10	10	6	
			実績	4	13	6		
			達成率	80.0%	130.0%	60.0%		#DIV/0!
イ 新型コロナワクチン集団接種の実施	イ 集団接種の実施回数	回	目標	0	70	50	48	
			実績	0	93	19		
			達成率	#DIV/0!	132.9%	38.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号	
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		新型コロナウイルスワクチン接種事業費							
								10	04							02383
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金		80,515	51,548	2,257		-28,967	国庫支出金		76,666	48,433	2,257		-28,233			
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源							一般財源		-1	3,114			3,115			
合計		80,515	51,548	2,257		-28,967	合計(A)		76,665	51,547	2,257		-25,118			
財源名称	新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金					従事正職員人数		2	2	3	2		1			
						延べ業務事務時間		200	800	1,000	200		200			
						人件費計(千円)(B)		669	2,680	3,421	672		741			
	最終予算額		51,548 千円	予算執行率	99.9%		トータルコスト(A+B)		669	79,345	54,968	2,929		-24,377		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	高齢者の接種率は85%を超えているが、年齢が若くなるに従い接種率が低下する。接種の呼びかけを継続的に行う必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	地域自殺対策緊急強化事業費(普及啓発)	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02385	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	保健指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等		光嶋 康子

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	大切な命を自ら絶つ悲劇を防ぐために、「自分たちにできること」「知っておいてほしいこと」「ひとりで悩まず相談すること」等について愛育委員全体研修会で講話を行った。新成人に対しては成人式にて、啓発用パンフレットやグッズを配布して啓発を行った。	全国的に様々な原因により自殺者が増加している。本町においても、年間数名の方が自ら命を絶つ現状にあり、自殺防止のためには、身近な方の気づきや傾聴、関係者につなぐことの大切さ等を、町民に広く知ってもらう必要があり、また全国の自治体で自殺対策計画の策定が義務付けられているため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 鏡野町の全住民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	11,280	12,358		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 自殺者数が減少する	ア 自殺者数 (公表時期の都合により、評価対象年度の前年度実績を記入)	人	目標	2	2	2	2	2
イ	イ		実績	2	1	不明		
			達成率	100.0%	50.0%	#VALUE!		#VALUE!
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア リーフレット等の配布 (研修会やイベントで配布)	ア 配布数(一般住民)	枚	目標	200	200	200	200	200
イ リーフレット等の配布 (成人式で配布)	イ 配布数(関係機関及び新成人)	枚	実績	0	153	170		
			達成率	0.0%	76.5%	85.0%		85.0%
			目標	150	150	150	150	
			実績	0	90	100		
			達成率	0.0%	60.0%	66.7%		#DIV/0!



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 04 項 01 目 02						中事業 01 01 地域自殺対策緊急強化事業費(普及啓発)						事業番号		
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		11		01			02385	
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金	143	27	17	17	17	-10	県支出金	119	16	17	22	25	1		
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	143	41	106	83	83	65	一般財源	110	11	13	30	30	2		
合計	286	68	123	100	100	55	合計(A)	229	27	30	52	55	3		
財源名称	地域自殺対策緊急強化事業費補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	20	23	25	25	25	2		
							人件費計(千円)(B)	67	77	86	84	84	8		
	最終予算額		123 千円		予算執行率		24.3%		トータルコスト(A+B)		296	104	116	136	139

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
見直し余地がある	向上余地がある	・ゲートキーパ養成講座を愛育委員の研修として実施したが、対象者が154人と多くロールプレイで深める研修は12名の参加であった。来年度は社協のボランティア団体を対象に開催する予定。各ボランティア団体が活動するうえでゲートキーパの視点を持っていただくことにより、現状より自殺予防が深まる。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	健康づくり推進事業費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02390	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導戦係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町健康づくり条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①健康教室の開催(健康運動実践指導者による「歩きやすい体づくりのための運動教室」令和5年1月に3回開催) ②健康づくり推進協議会の開催(町内の各種団体、学校等の代表者が集まり町の健康づくりについて協議 令和5年3月に開催) ③健康づくり体操を有線テレビで放送(通年) ④歯科保健8020表彰	平成25年12月20日鏡野町健康づくり条例が策定、施行され、町民・地域・行政や各種関係者共同連携のもとで、健康づくりを推進していくこととなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,625	12,497	12,358	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 自分の健康づくりに関心を持ち、自ら健康づくり活動に取り組んでもらう	ア 健康教室参加者数	人	目標	0	0	40	80	100
			実績	0	0	39		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	97.5%		39.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 健康教室の開催	ア 開催回数	回	目標	0	0	3	6	10
			実績	0	0	3		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%		30.0%
イ 歯科8020表彰者	イ 表彰者数	人	目標	20	20	20	25	2
			実績	17	8	19		
			達成率	85.0%	40.0%	95.0%		950.0%
ウ	ウ		目標					25
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		12	01	健康づくり推進事業費					
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金		5,500				-5,500	国庫支出金		5,500				-5,500			
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財			48	58	58	48	その他特財			14	58	58	14			
一般財源	2,024	5,011	655	720	720	-4,356	一般財源	606	3,330	564	720	720	-2,766			
合計	2,024	10,511	703	778	778	-9,808	合計(A)	606	8,830	578	778	778	-8,252			
財源名称	国民健康保険特別会計繰入金(事業勘定)						従事正職員人数		10	10	4	5	5	-6		
							延べ業務事務時間		100	400	200	250	300	-200		
							人件費計(千円)(B)		334	1,340	684	841	1,009	-656		
	最終予算額		703 千円	予算執行率		82.2%	トータルコスト(A+B)		940	10,170	1,262	1,619	1,787	-8,908		

1枚目

事業番号	02390	事務事業名	健康づくり推進事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成25年12月20日鏡野町健康づくり条例の制定、施行。平成26年度に策定した健康づくり計画(健康かがみの21計画)に基づき事業を実施。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
本事業で令和3年度取り組んでいた「かがみの健康ポイントモデル事業」は令和4年度「健康ポイント事業」に変更。今年度の事業は、健康教室、健康づくり推進協議会、健康づくり体操、歯科8020表彰となる。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
年度替わりに健康づくり体操が流れない時期が一時あった。その際、「体操がなぜ流れないのか」「放送して欲しい」と住民からの要望が複数有線テレビにあった。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 重点施策「健康づくりの推進」をするための事業である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 健康づくり推進協議会は町の健康づくりを協議・検討する場であり、重点施策の根幹である。また、情報発信や場の提供も、全住民の健康保持・増進のため関与する事は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 住民の健康推進実施のためには妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 開催した健康教室は関心が高く、すぐに定員に到達した。今後は、食事や心の健康など、複数の健康教室を企画・開催し参加する事で、健康ポイント事業やチャレンジ90日事業へ結びつけ、各事業の新規参加者を増加させたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 町の健康づくりの中心となる事業は他にない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 健康づくり体操は根強い視聴者がいるが、長年の放送でマンネリ化気味でもある。新たな視聴者を獲得のため内容の検討も必要と考える。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 健康ポイントモデル事業が移行したため、令和4年度より事業費が減少している。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 最低限の人数で事業実施しており、今以上の削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 健康づくり協議会以外の事業は大人を対象としているが、一部ではなく全体が対象。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	・健康教室は好評であったが、健康意識が高い人が中心の参加であったため、今後は、意識があまり高くなく、健康チャレンジ等事業未参加層への働きかけが必要。 ・健康づくり体操については、新たな視聴者獲得のため内容について見直しを行う。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 ・健康教室は選択内容や回数を増やし、健康を学び、取り組む機会を増加させる。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
・新たな参加者への働きかけ。																									

事業番号	事務事業名	かがみの健康チャレンジ事業費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02392	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町健康づくり条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・10月 広報にて事業周知、参加者募集 参加申し込みのあった者より、随時、90日間、自分が選択した健康づくりを取り組む。 ・90日間終了したものが、取り組み状況を記入した「チャレンジカード」を役場に提出 ・提出者に参加賞を渡す	・平成25年度健康づくり条例制定 ・平成26年度健康推進計画「健康かがみの21」策定 ・平成27年度より、気軽に健康づくりに取り組むきっかけとして本事業を開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町民・在勤者	→	ア	人	見込	12,625	12,497	12,358	11,627	11,455
					実績	12,625	12,497	12,358		
イ		→	イ		見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町民自身が自ら健康づくりに取り組んでもらう	→	ア	%	目標	98	98	98	98	98
					実績	98	96	98		
					達成率	100.0%	98.0%	100.0%		100.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	きっかけづくり	→	ア	人	目標	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100
					実績	1,014	852	716		
					達成率	101.4%	77.5%	65.1%		65.1%
イ	参加者へのフォローアップ	→	イ	%	目標	90	90	90	90	90
					実績	72	75	82		
					達成率	80.0%	83.3%	90.9%		90.9%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		事業 12 02						事業番号 02392
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		予算上の事業名 かがみの健康チャレンジ事業費						
予算(千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,603	1,457	1,376	1,482	1,482	-81	一般財源	1,270	1,051	869	1,482	1,482	-182		
合計	1,603	1,457	1,376	1,482	1,482	-81	合計(A)	1,270	1,051	869	1,482	1,482	-182		
財源名称							従事正職員人数	2	2	1	2	2	-1		
							延べ業務事務時間	600	600	600	600	600			
							人件費計(千円)(B)	2,006	2,010	2,053	2,017	2,017	43		
	最終予算額	1,376 千円		予算執行率	63.1%		トータルコスト(A+B)	3,276	3,061	2,922	3,499	3,499	-139		

1枚目

事業番号	02392	事務事業名	かがみの健康チャレンジ事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	----------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 新型コロナウイルス感染症流行以前は事業終了後、協賛事業者提供による参加賞を抽選会で渡していたが、令和2年度より一律の参加賞を渡す方法に変更。一緒に行っていた、健康づくり講演会など中止している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 令和27年の事業開始時より20歳以上の町民・在勤者を対象としていたが、平成29年度より0歳以上の町民に対象を拡大。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 本事業参加者のうち、81.9%が「参加により生活習慣の変化があった」と回答。また、98.5%が「本事業終了後も健康づくりの習慣を継続したい。」とも回答しており、生活習慣を見直すきっかけになっていると思われる。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 町の最重点施策「健康づくりの推進」を気軽に、幼児から高齢者まで無理なく取り組める事業の中心である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 全ライフステージの健康づくりを横断的に実施するには町の実施が妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 より健康づくりに特化した「かがみの健康ポイント事業」とは異なり、幅広い健康づくりを対象とし、取り組み用紙だけの簡易性のため、ポイント事業に取り組みにくい町民へ対しての健康づくりの受け皿としては妥当と考える。
効果 性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 健康づくりに対する意識が高いものは、ポイント事業に移行している。今後は、今まで参加していなかった層に本事業をPRL新たな参加者の獲得の検討が必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
効率 性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 気軽に健康づくりの習慣化を促す事業は他になく、休止・廃止により、町民の主体性のみに依存することとなる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 参加申し込みだけでなく、取り組み状況報告の電子化の検討。
公平 性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 現在までも参加賞を町から一律配布したり、チャレンジカードを事業当初から広報に折り込むなど、事業費削減に努めてきた。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
公平 性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 現在も最低限の職員で担当しており、これ以上人件費の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 全住民が対象となっており偏りはない。	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	健康ポイント事業の開始により参加者は減少したが、本事業が定着している町民にとっては生活習慣改善の機会となっている。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 新たな参加者の獲得のため、結果報告を電子化するなど、より気軽なものになるよう検討をする。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
電子化の具体的方法の検討。																									

事業番号	事務事業名	健康ポイント事業費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02394	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町健康づくり条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①スマホ又は活動量計を用い、歩数測定 ②体組成測定(筋肉量・脂肪量等)の定期的測定 ③町が実施する健康診断や健康教室の参加 ①~③でポイントを付与し、ポイント数に応じて景品と交換。 参加者は登録制。	・平成25年度健康づくり条例制定 ・平成26年度健康推進計画「健康かがみの21」策定 ・町の健康づくりを推進していくため、受診率向上との両輪として令和3年度モデル実施。 本年度より、本格実施となる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 18歳以上の町民	ア 18歳以上の町民人口	人	見込		10,800	10,672	10,514	10,500
			実績		10,800	10,672		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 自分の健康に関心を持ち、自ら健康づくり活動に取り組んでもらう	ア 参加者数	%	目標	0	200	500	500	700
			実績	0	120	290		
			達成率	#DIV/0!	60.0%	58.0%		41.4%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 歩数測定	ア 期間平均歩数	歩	目標	0	6,000	6,500	7,000	8,000
			実績	0	5,254	6,323		
			達成率	#DIV/0!	87.6%	97.3%		79.0%
イ 町健診参加者へのポイント付与	イ 事業参加者の健診受診者	人	目標	0	0	145	200	300
			実績	0	0	132		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	91.0%		44.0%
ウ 健康教室参加者へのポイント付与	ウ 事業参加者の教室参加者数	人	目標	0	0	100	200	300
			実績	0	0	98		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	98.0%		32.7%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		大 12		中 04		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		健康ポイント事業費		健康ポイント事業費		健康ポイント事業費		
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	02394	
国庫支出金		5,500				-5,500	国庫支出金		5,500				-5,500		
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財			3,670	4,376	4,400	3,670	その他特財			3,627	4,376	4,400	3,627		
一般財源		5,011	3,365	3,909	3,900	-1,646	一般財源		3,330	3,024	3,909	3,900	-306		
合計		10,511	7,035	8,285	8,300	-3,476	合計(A)		8,830	6,651	8,285	8,300	-2,179		
財源名称	国民健康保険特別会計繰入金(事業勘定)						従事正職員人数			10	3	4	4	-7	
							延べ業務事務時間			400	700	700	700	300	
							人件費計(千円)(B)			1,340	2,395	2,353	2,353	1,055	
	最終予算額		7,035 千円		予算執行率		94.5%		トータルコスト(A+B)			10,170	9,046	10,638	10,653

事業番号	02394	事務事業名	健康ポイント事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
開始して間もないため、大きな変化はなし。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
令和3年度はスマホ登録のみで実施し、今年度より活動量計での参加も始める。また、ポイント付与も開始。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
・事業の知名度が低い。・290人もの登録は多いと思う。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 町の最重点政策「健康づくりの推進」に直結するものである。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 ライフステージを網羅しての健康づくりは町でなければ難しい。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 高血圧・高血糖・脂質異常の指摘が多く、糖尿病や循環器疾患の発症に影響を及ぼしている。(町の特定健診結果より。)異常指摘者の生活習慣の特徴として運動不足が挙げられ、その課題解決には現対象者が妥当と考える。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 生涯学習など他課や町内各種団体等との連携を充実させ、事業PRやポイント獲得機会の増加を図り、町民が参加したい魅力アップを図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 町民の行動変容を積極的に促す事業は他に存在しないため、廃止・休止により町民の自主性に任せることとなる。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 参加がしやすいよう、ハードルをさげる(簡易登録方法の検討)	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 ポイント管理などシステム面では契約している株式会社タニタヘルスリンクの力が必須だが、事業内容については、町内各種団体をはじめとする住民協力で充実が可能である。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 参加者数が増加すればする程、機器類の登録や管理等に職員の対応時間が増大していくため、成果を得るためには削減は考えられない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 体組成測定が可能な18歳以上全町民を対象としているが、景品交換にあたっては、より多くの町民に還元できるよう参加者の増加に力を入れていきたい。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本格稼働初年目。事業の認知度がまだ低いため、周知の強化が必要。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 鏡野マラソン等、各種事業でもポイント付与。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
他課や関係団体との連携・協力の強化		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21134	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康指導支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	高齢者医療の確保に関する法律	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	対象となる40~74歳の国保被保険者の全員に受診券を準備し郵送にて送付。集団健診は予約制として6月と10~11月に分けて実施。医療機関で受ける個別健診は6~11月末まで。健診終了後は随時結果を個別に返送。必要に応じて保健師、栄養士による訪問にて対応。受診者のうち、メタボリックシンドローム予備群にあたる者に対して実施する「特定保健指導」についてR3年度は集団健診会場にて同日に初回面談を実施した。	医療制度改革によりH20年度から「老人保健法」の事業が「高齢者医療確保法」と「健康増進法」に分かれ、健康診査は保険者の実施責任として行い、被保険者の健康の保持増進及び疾病の発症、重症化の抑制を図り、医療費の適正化に結び付けることを目的に実施することとなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	特定健診対象者	→	ア	人	見込	2,302	1,932	2,300	2,300	2,300
					実績	2,010	2,251	2,322		
イ	特定保健指導対象者	→	イ	人	見込	97	130	130	110	110
					実績	1	117	106		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	健診を受診し、生活習慣病の予防を図る	→	ア	人	目標	53	51	51.5	52	52.5
					実績	38	40	40		
					達成率	72.4%	78.4%	77.7%		76.2%
イ	特定保健指導対象者の生活習慣の改善を図る	→	イ	%	目標	20	20	20	25	25
					実績	7	1	19		
					達成率	35.0%	5.0%	94.5%		75.6%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	集団健診の実施	→	ア	回	目標	11	17	17	11	11
					実績	15	15	12		
					達成率	136.4%	88.2%	70.6%		109.1%
イ	保健指導実施機会の提供	→	イ	回	目標	4	4	4	11	11
					実績	0	15	12		
					達成率	0.0%	375.0%	300.0%		109.1%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 09		項 01		目 01		中事業		予算上の事業名				事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保健事業費		特定健康診査等事業費		特定健康診査等事業費		01 01		特定健康診査等事業費				
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金	4,120	4,050	7,041	7,500	7,500	2,991	県支出金	3,170	3,666	8,445	8,500	8,500	4,779		
町債							町債								
その他特財	46	46	50	50	50	4	その他特財	31	43	46	50	50	3		
一般財源	11,530	8,893	6,911	7,000	7,000	-1,982	一般財源	4,459	7,234	3,071	6,000	6,000	-4,163		
合計	15,696	12,989	14,002	14,550	14,550	1,013	合計(A)	7,660	10,943	11,562	14,550	14,550	619		
財源名称	保険給付費等交付金(特別交付金:保健事業負担金)					従事正職員人数		9	9	5	5	5	-4		
	健康増進事業補助金特定健診分繰入金					延べ業務事務時間		950	950	956	950	950	6		
						人件費計(千円)(B)		3,176	3,183	3,270	3,194	3,194	88		
	最終予算額		14,002 千円	予算執行率		82.5%	トータルコスト(A+B)		10,836	14,126	14,832	17,744	17,744	707	

事業番号	21134	事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 新型コロナウイルスの流行に伴い、集団健診の予約制を導入。感染症予防による受診の控えや予約制に伴い、集団健診の受診者は減少したが、個別健診の受診率は増加しつつある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 平成29年度から特定健診の無料化。人間ドック費用助成制度(上限6,500円)の導入。平成30年度ナイター健診の開始。令和2年度より集団健診の予約制を導入。令和4年度より医療機関へ特定健診結果の情報提供事業を実施。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 医療機関へ定期的に受診しているため、特定健診を受診しない。受診券も不要等。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 健康づくりの推進は、町の最重点施策であり、町国保加入者の健康の維持・増進を図るためには必要不可欠であり、健康づくりの基盤となっている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 国民健康保険加入者の保険者は町であるため、町が実施する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町国保加入者を対象(長期不在、施設入所は除く)としており、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 健診未受診者は40～50代に多く、若年層に向けて健診の必要性をより周知する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 被保険者の健康の保持増進及び疾病の発症、重症化の抑制を図ることが困難になる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 受診券発行を効率化により、業務時間の改善余地がある。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 健診の運営、健診の周知、必要物品の購入等、成果向上のためには削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 集団健診の予約制導入により、限られた人員で健診を運営することが実施可能となったが、各種がん健診、特定健診、後期高齢者健診、20～30歳代健診、一般健診(生保)を同日に行う集団健診を運営する上で、これ以上の削減は困難になる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 国民健康保険加入者の保険者を対象に行っており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	令和4年度より医療機関へ定期的に受診しているため、特定健診は受診していない者に対し、特定健診相当の検査結果を医療機関から提供してもらった情報提供事業を実施したことにより、受診率の向上に繋げることができた。今後も情報提供事業を実施すると共に、健診の必要性について周知をしていく必要がある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 健康づくりは町の最重点施策であり、健診受診率の向上を目指す。コロナ禍以降、受診率が減少したが、個別健診の受診率が増加傾向にあり、かかりつけ医を持つ機会に繋がっている。今後、若年層への広報も力を入れ、SMS等を活用すう等広報の方法についても検討していきたい。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
健診受診率の向上のため受診勧奨の方法について検討(特に国保加入者の若年層)。特定健診受診券の送付方法について(業務時間の改善)。																									

事業番号	事務事業名	保健衛生普及費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21136	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	高齢者医療の確保に関する法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者の疾病予防、重症化の防止に取り組み、健康の保持増進及び医療費の適正化を図る。 ・直診施設と連携を図りながら、歯科に係る在宅ケアを推進するため、寝たきり老人等に対し、歯科診療・指導等を行う事業 ・24時間年中無休電話健康相談委託事業 ・医療費通知事業 ・後発医薬品差額通知事業 ・健診受診勧奨事業	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町国保被保険者	ア 鏡野町の国保被保険者数(年度末)	人	見込	2,650	2,650	2,650	2,390	2,270
			実績	2,261	2,649	2,515		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 健診受診勧奨により健診受診率を向上させる	ア 特定健診受診率	%	目標	53	42	45	45	48
			実績	38	40	40		
			達成率	70.9%	95.2%	88.9%		83.3%
イ 保健事業実施により被保険者の健康の維持と医療費の削減に努める	イ 被保険者一人当たりの医療費(県の国保事業状況より)	千円	目標	375	430	430	433	430
			実績	455	437	435		
			達成率	121.3%	101.6%	101.2%		101.2%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 健診受診勧奨	ア 勧奨通知送付数	通	目標	1,185	2,880	2,800	3,000	3,000
			実績	1,185	2,880	6		
			達成率	100.0%	100.0%	0.2%		0.2%
イ 健康相談への対応	イ 電話相談受付件数	件	目標	160	160	160	150	150
			実績	170	125	127		
			達成率	106.3%	78.1%	79.4%		84.7%
ウ 被保険者個人の医療費の額を通知	ウ 医療費通知送付回数	回	目標	6	6	6	2	2
			実績	6	6	6		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		300.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう
イ	イ 心身ともに健康で暮らしてもらう
ウ	ウ 健康づくりに取り組んでもらう
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 09		項 02		目 01		大事業		中事業		予算上の事業名		事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保健事業費		保健事業費		保健衛生普及費		01		01		保健衛生普及費		
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金	10,988	4,610	6,201	6,123	6,123	1,591	県支出金	7,711	4,808	5,705	6,123	6,123	897		
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源		4,193	5,298	4,996	4,996	1,105	一般財源		3,800	3,530	4,996	4,996	-270		
合計	10,988	8,803	11,499	11,119	11,119	2,696	合計(A)	7,711	8,608	9,235	11,119	11,119	627		
財源名称	保険給付費等交付金(特別交付金・保険者努力支援制度分)						従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	保険給付費等交付金(特別交付金・国特別調整交付金)						延べ業務事務時間	200	200	200	200	200			
							人件費計(千円)(B)	669	670	684	672	672	14		
	最終予算額		11,499 千円		予算執行率		80.3%		トータルコスト(A+B)		8,380	9,278	9,919	11,791	11,791

事業番号	21136	事務事業名	保健衛生普及費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	---------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
特定健診の受診、疾病・重症化の予防、住民の健康意識の向上等の取り組みが国保制度において推進されているが、コロナ禍の影響で健診等の実施が難しくなっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
国民健康保険保険者努力支援交付金を活用。保健所等の技術的支援もお願いしている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
働き世代は健診受診率が低い、健康に対する意識を持っていることがわかった。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 疾病予防、重症化防止の啓発となり、健康の保持増進に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 医療費の適正化につながるものであり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町民の健康づくり推進のためになっており、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 事業の大切さをしっかりと住民に理解されるよう継続して行い、成果の向上を目指す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 歯科保健事業については、近辺に他の歯科診療所が無い地域であることから影響がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 医療費通知の回数、勧奨通知のタイミング等を見直す。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 専門機関への委託や協力が必要である。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 歯科医師、歯科衛生士、保健師、管理栄養士といった専門職の関わりが必要である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 国保被保険者等への事業は全町民対象ではないが、公平・公正な事業である。	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルスの影響はまだあるが、疾患の予防、悪化の防止、早期治療につなぐことができ、医療費の削減や介護予防に貢献する事業である。 健診未経験者へのアプローチにより、未経験者の健診受診率が上がったが、40~50代の受診率は低いままであるため、今後も継続して実施する必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 若年層の受診率を向上させるため、年代別の勧奨通知を作成する。 訪問や電話等による直接アプローチを増やす。 様々な事業や教室と協力しながら、楽しく、季節関係なく体を動かせる環境を整える。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
健診になじみのない若年者の受診意識の向上が必要である。																									

事業番号	事務事業名	救急医療対策費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02122	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	在宅当番・救急医療情報提供実施事業運営委託契約書休日	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町と苫田郡医師会が、地域住民の救急医療の確保を図るために、在宅当番・救急医療情報提供実施事業を行っている。この事業の運営に必要な事業(休日の診療を行う在宅当番医の当番日の調整事業及び在宅当番医の実施事業)を委託し、委託料を支払っている。休日の医療を確保するため、苫田郡医師会へ依頼し、休日当番表により診療した回数に負担金を出している。	休日において、急な病気やけがに対応するため、苫田郡内の医療機関が持ち回りで当番医を決めている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 二次救急医療を受けてもらう	ア 二次救急医療機関の数	施設	目標	2	2	2	2	2
イ	イ		実績	2	2	2		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 負担金支払	ア 負担金支払回数	回	目標	1	1	1	1	1
イ	イ		実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		07		01		救急医療対策費			
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	7,900	7,900	7,900	7,829	7,829		一般財源	7,684	7,684	7,036	7,829	7,829	-648			
合計	7,900	7,900	7,900	7,829	7,829		合計(A)	7,684	7,684	7,036	7,829	7,829	-648			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						4	4	4	4	4	4				
	人件費計(千円)(B)						13	13	14	13	13	13	0			
	最終予算額	7,900 千円		予算執行率	89.0%		トータルコスト(A+B)	7,697	7,697	7,050	7,842	7,842	-648			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	令和4年10月から、奥津・上齋原・富の3診療所と西村眼科医院を除く5医療機関(武田医院・山田医院・三村医院・芳野病院・鏡野病院)での運用に代わった。休日当番に関わる医療機関の負担軽減が今後の課題である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	苦田郡医師会補助金	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
02186	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地域医療の安定・向上のため、苦田郡医師会の研究援助として補助金を助成している。	開始時期は不明であるが、旧苦田郡医師会から引き続いて支出されている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 苦田郡医師会	→	ア 医師会団体数	団体	見込	1	1	1	1	1
イ	→			実績	1	1	1		
	→			見込					
	→			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 医療技術や知識の向上を図ってもらう	→	ア 研究等活動回数	回	目標	1	1	1	1	1
	→			実績	1	1	1		
	→			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	→			目標					
	→			実績					
	→			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 補助金の支払	→	ア 支払回数	回	目標	1	1	1	1	1
	→			実績	1	1	1		
	→			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	→			目標					
	→			実績					
	→			達成率					
ウ	→			目標					
	→			実績					
	→			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大 17		中 02		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費						苦田郡医師会補助金		
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	02186	
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	139	139	139	139	139		一般財源	139	139	139	139	139			
合計	139	139	139	139	139		合計(A)	139	139	139	139	139		0	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	1	1	1	1	1			
							人件費計(千円)(B)	3	3	3	3	3		0	
	最終予算額	139 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	142	142	142	142	142		0	

1枚目

事業番号	02186	事務事業名	苫田郡医師会補助金	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
特になし
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
特になし

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 医師の研究等の充実のために支出しており、地域医療の充実に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 医師の研究等の充実のために支出しており、地域医療の充実に結びついている。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 対象等の拡充の余地はない。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 医療技術は日進月歩であり、さらなる研究等の機会を増やす必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 成果への影響は不明であるが、行政と医師会との連携面で感情的な問題が生じる可能性はある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 方法・手段の改善余地等はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 医師会との協議が必要であり、現状では削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 現状では最小限の時間で対応している。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 地域医療を担う医師会への補助金であり、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	在宅医療の推進、介護・医療の連携及び地域包括ケアシステムの構築等に中心的な役割を果たしている医師会への補助金であり、現状維持とする。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 地域包括ケアシステム鏡野版の構築に向け、研修等をさらに推進する。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
医師会の協力が不可欠である。																									

事業番号	事務事業名	経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
21002	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険事務にかかる費用 職員旅費・消耗品費・封筒印刷費・郵送料・国保総合システム機器保守料等 必要時に支出決議する	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保被保険者	ア 鏡野町の国保被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,650 2,690	2,690 2,649	2,650 2,515	2,390	2,270
イ 職員	イ 国保担当職員数	人	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2	2

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 滞りなく国保業務を行う	ア 順調に国保業務が行えた職員数	人	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 支出決議	ア 国保事業会計支出決議件数	件	目標 実績 達成率	2,000 1,755 87.8%	2,000 1,751 87.6%	1,800 1,682 93.4%	1,700	1,700
イ 歳入決議	イ 国保事業会計歳入決議件数	件	目標 実績 達成率	2,000 1,348 67.4%	2,000 1,188 59.4%	1,800 1,065 59.2%	1,700	1,700

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 01		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名				事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		総務費		総務管理費		一般管理費		01	02	経常管理費				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	2,279	2,097	1,984	3,580	3,580	-113	一般財源	1,982	1,935	1,754	3,580	3,580	-181		
合計	2,279	2,097	1,984	3,580	3,580	-113	合計(A)	1,982	1,935	1,754	3,580	3,580	-181		
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2				
	延べ業務事務時間						230	230	230	230	230				
	人件費計(千円)(B)						769	771	787	773	773	16			
	最終予算額	1,984 千円		予算執行率	88.4%		トータルコスト(A+B)	2,751	2,706	2,541	4,353	4,353	-165		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	特別調整交付金(その他特別事情)事業費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21005	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等		小椋 浩美

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	未就学児に係る国民健康保険税均等割額が減額されるため、制度改革に対応するためのシステム改修。	「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」が令和3年6月11日に公布。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	国保被保険者数	→	ア	人	見込 実績			2,650 2,515		
イ	職員	→	イ	人	見込 実績			2 2		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	滞りなく国保業務を行う	→	ア	人	目標 実績 達成率			2 2 100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	システム改修	→	ア	件	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21 款		01 項		01 目		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		総務費		総務管理費		一般管理費		特別調整交付金(その他特別事情)事業費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金		165			165	国庫支出金			165			165			
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源						一般財源									
合計		165			165	合計(A)			165			165			
財源名称	保険給付費等交付金 国特別調整交付金(特別交付金)					従事正職員人数			1			1			
						延べ業務事務時間			6			6			
						人件費計(千円)(B)			21			21			
	最終予算額		165 千円	予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)			186			186		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	特になし
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	市町村事務処理標準システム整備事業	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21010	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	令和3年9月1日施行の「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」により標準化基準に適合したシステムの利用が義務付けられたため、国保中央会開発の市町村事務処理標準システムの導入を行う。	令和4年度に市町村事務処理標準システムを導入し、令和5年度より運用する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	国保被保険者	→	ア	人	見込 実績			2,650 2,515		
イ	職員	→	イ	人	見込 実績			2 2		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	滞りなく国保業務を行う	→	ア	人	目標 実績 達成率			2 2 100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	システム導入	→	ア	1	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 01		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		総務費		総務管理費		一般管理費		市町村事務処理標準システム整備事業						
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金			36,483			36,483	国庫支出金			36,483			36,483		
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源							一般財源								
合計			36,483			36,483	合計(A)			36,483			36,483		
財源名称	保険給付費等交付金		国特別調整交付金(特別交付金)		従事正職員人数					1			1		
					延べ業務事務時間					10			10		
					人件費計(千円)(B)					34			34		
	最終予算額		36,483 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)					36,517			36,517	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	特になし
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	賦課徴収経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21011	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険税条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国保税の徴収に係る経費	国保税徴収のため

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保被保険者	ア 鏡野町国保被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,650 2,690	2,690 2,649	2,690 2,515	2,390	2,270
イ 国保税賦課徴収職員	イ 賦課徴収職員数	人	見込 実績	9 9	3 3	2 2	2	2
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保税を滞りなく納めてもらう	ア 国保税入金額	千円	目標 実績 達成率	250,000 223,361 89.3%	250,000 218,643 87.5%	250,000 212,955 85.2%	207,000	202,000 105.4%
イ スムーズに賦課徴収業務にあたる	イ 業務ができた職員数	人	目標 実績 達成率	9 9 100.0%	3 3 100.0%	2 2 100.0%	2	2 100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 費用の支払い	ア 支払決議書回数	回	目標 実績 達成率	30 43 143.3%	30 59 196.7%	30 67 223.3%	30	30 223.3%
イ 納税通知書発送	イ 発送通数	通	目標 実績 達成率	1,830 1,822 99.6%	1,830 1,811 99.0%	1,830 1,815 99.2%	1,820	1,820 99.7%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21		01		02		01		01		01		事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)	総務費	徴税费	賦課徴収費	01	01	予算上の事業名		賦課徴収経常管理費		21011				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	791	708	701	604	604	-7	一般財源	618	655	694	604	604	39		
合計	791	708	701	604	604	-7	合計(A)	618	655	694	604	604	39		
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2	2			
	延べ業務事務時間						10	10	10	10	10	10			
	人件費計(千円)(B)						33	34	34	34	34	34	1		
	最終予算額		701 千円		予算執行率		99.0%		トータルコスト(A+B)		651	689	728	638	638

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	条例に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者療養給付費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21041	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 国保一般被保険者医療費負担分(医科・歯科・調剤等)で疾病、負傷に対する保険者負担の費用100%普通交付金でみてもらえるため、国保連合会から資料で県へ交付金を請求する。 県からの交付金を調定するが、予算より公金振替することで処理する。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。 平成30年度より県国保へ変更したため県費から交付金が歳入となる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保一般被保険者	ア 鏡野町の国保一般被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,700 2,690	2,650 2,649	2,650 2,515	2,390	2,270
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 安心して医療を受ける	ア 安心して医療を受けられた被保険者数	人	目標 実績 達成率	2,700 2,690 99.6%	2,650 2,649 100.0%	2,650 2,515 94.9%	2,390	2,270 110.8%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保連合会への支払い	ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	25 25 100.0%	25 24 96.0%	24 23 95.8%	24	24 95.8%
イ 点検員によるレセプト点検	イ 再審査請求枚数(年間合計)	件	目標 実績 達成率	1,000 703 70.3%	1,000 718 71.8%	1,000 672 67.2%	1,000	1,000 67.2%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21		02		01		01		01		01		01		事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		療養諸費		一般被保険者療養給付費		01		01		01		01		
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金	996,554	981,385	926,520	917,490	917,490	-54,865	県支出金	874,179	849,303	845,780	917,490	917,490	-3,523				
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源							一般財源										
合計	996,554	981,385	926,520	917,490	917,490	-54,865	合計(A)	874,179	849,303	845,780	917,490	917,490	-3,523				
財源名称	療養給付費等負担金(普通交付金)						従事正職員人数	2	2	2	2	2					
							延べ業務事務時間	230	230	230	230	230					
							人件費計(千円)(B)	769	771	787	773	773	16				
	最終予算額 926,520 千円			予算執行率	91.2%		トータルコスト(A+B)	874,948	850,074	846,567	918,263	918,263	-3,507				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	退職被保険者等療養給付費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21046	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 退職被保険者に係る療養給付費の保険者負担分	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保退職被保険者	ア 国保退職被保険者数	人	見込 実績	0 0	0 0	0 0	1	1
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療給付の受給	ア 給付を受けた退職被保険者数	人	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	1	1 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 診療報酬の支払い	ア 支払件数	件	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	12	12 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		療養諸費		退職被保険者等療養給付費		退職被保険者等療養給付費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	21046		
国庫支出金	0	0				国庫支出金	0	0							
県支出金	0	100	100	100	100	県支出金	0	0	0	100	100				
町債	0	0				町債	0	0							
その他特財	0	0				その他特財	0	0							
一般財源	0	0				一般財源	0	0							
合計		100	100	100	100	合計(A)				100	100	0			
財源名称	国民健康保険保険給付費等交付金					従事正職員人数	1	1	1	1	1				
						延べ業務事務時間	0	0	0	12	12				
						人件費計(千円)(B)				40	40	0			
	最終予算額		100 千円	予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)				140	140	0		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	該当者なし
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者療養費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21051	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 国保一般療養費被保険者負担分 柔道整復施術料・補装具購入費・はり・きゅう・マッサージ等費用および資格証明書交付者等(10割受診者)への保険者負担費用 100%普通交付金でみてもらえるため、国保連合会から資料で県へ交付金を請求する。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。 平成30年度より県国保へ変更したため県費から交付金が歳入となる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保一般被保険者	ア 鏡野町の国保一般被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,700 2,690	2,650 2,649	2,650 2,515	2,390	2,270
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 安心して医療を受ける	ア 安心して医療を受けられた被保険者数	人	目標 実績 達成率	2,700 2,690 99.6%	2,650 2,649 100.0%	2,650 2,515 94.9%	2,390	2,270 110.8%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保連合会への支払い	ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	140 120 85.7%	140 131 93.6%	140 125 89.3%	140	140 89.3%
イ 点検員によるレセプト点検	イ レセプト点検回数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		療養諸費		一般被保険者療養費		一般被保険者療養費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金	3,400	2,726	2,940	2,730	214	県支出金	2,300	2,692	2,330	2,730	2,730	-362			
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源						一般財源									
合計	3,400	2,726	2,940	2,730	214	合計(A)	2,300	2,692	2,330	2,730	2,730	-362			
財源名称	療養給付費等負担金(普通交付金)					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
						延べ業務事務時間	96	96	96	96	96				
						人件費計(千円)(B)	321	322	328	323	323	7			
	最終予算額	2,940 千円	予算執行率	79.2%	トータルコスト(A+B)		2,621	3,014	2,658	3,053	3,053	-355			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	退職被保険者等療養費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21056	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 退職被保険者に係る療養費の保険者負担分	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保退職被保険者	ア 国保退職被保険者数	人	見込 実績	0 0	0 0	1 0	1	1
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療給付の受給	ア 給付を受けた退職被保険者数	人	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	1 0 0.0%	1	0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 療養費の支払い	ア 支払件数	件	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	1 0 0.0%	1	0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 01		目 04		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		療養諸費		退職被保険者等療養費		退職被保険者等療養費						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金		10	10	10	10		県支出金				10	10			
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源							一般財源								
合計		10	10	10	10		合計(A)				10	10	0		
財源名称	国民健康保険保険給付費等交付金						従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間				12	12			
							人件費計(千円)(B)				40	40	0		
	最終予算額		10 千円		予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)				50	50	0	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	該当者なし
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者高額療養費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21066	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 国保一般被保険者医療費負担分(医科・歯科・調剤等)で疾病、負傷に対する保険者負担の費用100%普通交付金でみてもらえるため、国保連合会から資料で県へ交付金を請求する。 県からの交付金を調定するが、予算より公金振替することで処理する。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。 平成30年度より県国保へ変更したため県費から交付金が歳入となる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保一般被保険者	ア 鏡野町の国保一般被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,700 2,690	2,650 2,649	2,650 2,515	2,390	2,270
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 高額な医療費に対する負担軽減	ア 負担軽減した被保険者数	人	目標 実績 達成率	850 889 104.6%	800 855 106.9%	850 839 98.7%	850	850 98.7%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 申請のお知らせ発送・申請の受付	ア お知らせ発送回数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%
イ 高額療養の支給	イ 支給した被保険者数	人	目標 実績 達成率	850 889 104.6%	800 855 106.9%	850 839 98.7%	850	850 98.7%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21		02		02		01		01		01				事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		高額療養費		一般被保険者高額療養費		01		01		一般被保険者高額療養費				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金	169,260	163,699	138,915	136,395	136,395	-24,784	県支出金	136,414	120,659	121,687	136,395	136,395	1,028				
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源							一般財源										
合計	169,260	163,699	138,915	136,395	136,395	-24,784	合計(A)	136,414	120,659	121,687	136,395	136,395	1,028				
財源名称	療養給付費等負担金(普通交付金)						従事正職員人数	1	1	1	1	1					
							延べ業務事務時間	96	96	96	96	96					
							人件費計(千円)(B)	321	322	328	323	323	7				
	最終予算額		138,915 千円		予算執行率		87.5%	トータルコスト(A+B)	136,735	120,981	122,015	136,718	136,718	1,035			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	退職被保険者等高額療養費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21071	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 退職被保険者に係る高額療養費で、同じ人が同じ月内に同じ医療機関で限度額を超えて一部負担金を支払ったときに、その超えた分の保険者負担費用	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保退職被保険者	ア 鏡野町の国保退職被保険者数(年度末)	人	見込 実績	0 0	0 0	1 0	1	1
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 高額な医療に対する負担軽減	ア 負担軽減した被保険者数	人	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	1 0 0.0%	1	0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 申請お知らせ発送・申請の受付	ア お知らせ発送	回	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	1 0 0.0%	1	0.0%
イ 高額療養費の支給	イ 支給した被保険者数	人	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	1 0 0.0%	1	0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21 款		02 項		02 目		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		高額療養費		退職被保険者等高額療養費		退職被保険者等高額療養費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金		100	100	100	100	県支出金				100	100				
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源						一般財源									
合計		100	100	100	100	合計(A)				100	100	0			
財源名称	療養給付費等負担金(普通交付金)				従事正職員人数		1	1	1	1	1				
					延べ業務事務時間					12	12				
					人件費計(千円)(B)					40	40	0			
	最終予算額		100 千円		予算執行率		0.0%		トータルコスト(A+B)		140	140	0		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	該当者なし
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者高額介護合算療養費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
21072	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業。医療費が高額になった世帯内に介護保険の受給者がいる場合、国保と介護保険の限度額を適用後、毎年8月1日~7月31日の期間で、年額を合算して限度額を超えた分を支給する。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保一般被保険者	ア 鏡野町の国保一般被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,700 2,690	2,650 2,649	2,650 2,515	2,390	2,270
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 高額な医療費に対する負担軽減	ア 負担軽減した被保険者数	人	目標 実績 達成率	15 14 93.3%	15 10 66.7%	15 6 40.0%	15	15 40.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 勸奨通知の発送	ア 勸奨通知の発送回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ 申請受付	イ 受付人数	人	目標 実績 達成率	15 14 93.3%	15 10 66.7%	15 6 40.0%	15	15 40.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらおう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21		02		02		03		03		01		01		予算上の事業名				事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		高額療養費		一般被保険者高額介護合算療養費		01		01		01		01		一般被保険者高額介護合算療養費				21072
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比					前年比			
国庫支出金							国庫支出金														
県支出金	449	449	210	210	210	-239	県支出金	316	154	110	210	210	-44								
町債							町債														
その他特財							その他特財														
一般財源							一般財源														
合計	449	449	210	210	210	-239	合計(A)	316	154	110	210	210	-44								
財源名称	療養給付費等負担金(普通交付金)						従事正職員人数	1	1	1	1	1									
							延べ業務事務時間	15	15	15	15	15									
							人件費計(千円)(B)	50	50	51	50	50	1								
	最終予算額		210 千円		予算執行率	52.3%		トータルコスト(A+B)	366	204	161	260	260	-43							

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	出産育児一時金	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21081	政策名	1	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	16	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 出産一時金 一件当たり42万円 支出総額の3分の2は一般会計からの繰入金	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保被保険者	ア 鏡野町の国保被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,650 2,670	2,600 2,649	2,650 2,515	2,390	2,270
イ 申請をした被保険者	イ 申請をした被保険者	人	見込 実績	10 12	10 7	10 4	10	10
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 出産時の負担を軽減する	ア 一時金支給件数	件	目標 実績 達成率	10 12 120.0%	10 7 70.0%	10 4 40.0%	10	10 40.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 一時金の支給	ア 一時金支給件数	件	目標 実績 達成率	10 13 130.0%	10 7 70.0%	10 4 40.0%	10	10 40.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 子育て世帯	ア 町内で安心して子育てをしてもらう
イ 出生児	イ 子育てと仕事の両立を図ってもらう
ウ 未就学児	ウ 心身ともに健全に育ってもらう
エ 小学校児童	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21 款		02 項		03 目		02 目		01 中事業		予算上の事業名				事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		出産育児諸費		出産育児一時金		01		01		出産育児一時金				21081
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財	3,920	2,800	2,800	3,000	3,000		その他特財	3,080	1,960	1,120	3,000	3,000	-840				
一般財源	1,963	1,403	1,403	1,502	1,502		一般財源	1,542	981	560	1,502	1,502	-421				
合計	5,883	4,203	4,203	4,502	4,502		合計(A)	4,622	2,941	1,680	4,502	4,502	-1,261				
財源名称	出産育児一時金等繰入金						従事正職員人数	1	1	1	1	1					
							延べ業務事務時間	5	5	5	5	5					
							人件費計(千円)(B)	17	17	17	17	17	0				
	最終予算額	4,203 千円		予算執行率	39.9%		トータルコスト(A+B)	4,639	2,958	1,697	4,519	4,519	-1,261				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	葬祭給付費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21086	政策名	1	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 葬祭費5万円を支給する	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保被保険者	ア 鏡野町の国保被保険者数(年度末)	人	見込 実績	2,700 2,690	2,650 2,649	2,650 2,515	2,390	2,270
イ 申請をした国保被保険者	イ 申請をした国保被保険者数	人	見込 実績	30 21	24 17	25 23	25	25
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 葬祭時の負担軽減	ア 支給を受けた被保険者数	人	目標 実績 達成率	30 21 70.0%	24 17 70.8%	25 23 92.0%	25	25 92.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 死亡後の支給手続き	ア 葬祭費支給回数	回	目標 実績 達成率	30 21 70.0%	24 17 70.8%	25 23 92.0%	25	25 92.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 04		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		葬祭諸費		葬祭給付費		葬祭給付費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	1,350	1,200	1,250	1,200	1,200	50	一般財源	1,050	850	1,150	1,200	1,200	300		
合計	1,350	1,200	1,250	1,200	1,200	50	合計(A)	1,050	850	1,150	1,200	1,200	300		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						12	12	12	12	12	12			
	人件費計(千円)(B)						40	40	41	40	40	1			
	最終予算額	1,250 千円		予算執行率	92.0%		トータルコスト(A+B)	1,090	890	1,191	1,240	1,240	301		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者移送費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21091	政策名	1	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 被保険者に対する移送費の支給	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保被保険者	ア 国保被保険者数	人	見込	2,700	2,649	2,650	2,390	2,270
			実績	2,690	2,649	2,515		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 療養のための移送費の給付	ア 給付を受けた被保険者数	人	目標	0	0	1	1	1
			実績	0	0	0		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%		0.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 移送費の支払い	ア 支払件数	件	目標	0	0	1	1	1
			実績	0	0	0		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%		0.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 21		款 02		項 05		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		移送費		一般被保険者移送費		一般被保険者移送費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	21091		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金		10	10	10	10	県支出金				10	10				
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源						一般財源									
合計		10	10	10	10	合計(A)				10	10		0		
財源名称	国民健康保険保険給付費等交付金					従事正職員人数	1	1	1	1	1				
						延べ業務事務時間				1	1				
						人件費計(千円)(B)				3	3		0		
	最終予算額	10 千円		予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)				13	13		0	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	該当者なし
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	傷病手当金	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21094	政策名	1	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国民健康保険被保険者が安心して医療を受けられるよう安定した国保財政を運営するための事業 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金の支給	令和2年度より、感染拡大防止の観点から「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」として支給することとした。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国保被保険者	ア 国保被保険者数	人	見込 実績	2,700 2,690	2,649 2,649	2,650 2,515	2,390	2,270
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 傷病手当金の給付	ア 給付を受けた被保険者数	人	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	5 4 80.0%	5	5 80.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 傷病手当金の支払い	ア 支払件数	件	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	5 4 80.0%	5	5 80.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21		02		06		01		01		予算上の事業名				事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		保険給付費		傷病手当金		傷病手当金		01		01		傷病手当金				
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比					
国庫支出金						国庫支出金											
県支出金		2,000	2,000	2,000	2,000	県支出金			107	2,000	2,000	107					
町債						町債											
その他特財						その他特財											
一般財源						一般財源											
合計		2,000	2,000	2,000	2,000	合計(A)			107	2,000	2,000	107					
財源名称	国民健康保険保険給付費等交付金					従事正職員人数	1	1	1	1	1						
						延べ業務事務時間			5	5	5	5					
						人件費計(千円)(B)			17	17	17	17					
	最終予算額	2,000 千円	予算執行率	5.3%		トータルコスト(A+B)			124	2,017	2,017	124					

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者医療給付費分	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21201	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営の主体となり、市町村ごとの国民健康保険事業費納付金の額の決定や、保険給付に必要な費用の全額を、市町村に対して支払うこととなり、市町村は、都道府県が市町村ごとに決定した国民健康保険事業費納付金を都道府県に納付する。そのうちの一般被保険者の医療給付費分。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国民健康保険の財政運営制度	ア 制度数	制度	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1	1
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 円滑に運営する	ア 円滑に運営できた制度数	制度	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 支払業務	ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8	100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらおう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21 款		13 項		01 目		01 目		01 目		01 目		事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)	国民健康保険事業費納付金	医療給付費分	一般被保険者医療給付費分	01	01	01	01	01	01	01	01	01		
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金	4,199	3,013	5,024	5,190	2,011	県支出金	6,383	3,545	4,149	5,190	5,190	604			
町債						町債									
その他特財	60,321	59,794	60,709	62,230	915	その他特財	58,954	60,249	61,877	62,230	62,230	1,628			
一般財源	147,050	144,261	142,613	150,575	-1,648	一般財源	142,620	136,931	142,319	150,575	150,575	5,388			
合計	211,570	207,068	208,346	217,995	1,278	合計(A)	207,957	200,725	208,345	217,995	217,995	7,620			
財源名称	特別交付金・保険者努力支援分					従事正職員人数	1	1	1	1	1				
	保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)					延べ業務事務時間	8	8	8	8	8				
	保険基盤安定繰入金(保険者支援分)					人件費計(千円)(B)	27	27	27	27	27	1			
	最終予算額		208,346 千円	予算執行率	99.9%	トータルコスト(A+B)	207,984	200,752	208,372	218,022	218,022	7,621			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	一般被保険者後期高齢者支援金等分	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21203	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	国民健康保険法	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営の主体となり、市町村ごとの国保事業費納付金の額の決定や、保険給付に必要な費用の全額を、市町村に対して支払うこととなり、市町村は、都道府県が市町村ごとに決定した納付金を都道府県に納付する。そのうちの一般被保険者の後期高齢者支援金等(後期高齢者支援金及び後期高齢者関係事務費拠出金)分。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国民健康保険の財政運営制度	ア 制度数	制度	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1	1
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 円滑に運営する	ア 円滑に運営できた制度数	制度	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 支払業務	ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8	8 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらおう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21 款		13 項		02 目		01 大事業		01 中事業		予算上の事業名				事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)	国民健康保険事業費納付金	後期高齢者支援金等分	一般被保険者後期高齢者支援金等分	01	01	01	01	一般被保険者後期高齢者支援金等分				21203				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財	19,820	18,526	18,811	19,282	19,282	285	その他特財	19,370	18,667	19,173	19,282	19,282	506				
一般財源	49,047	48,617	51,643	57,924	57,924	3,026	一般財源	49,346	48,476	51,280	57,924	57,924	2,804				
合計	68,867	67,143	70,454	77,206	77,206	3,311	合計(A)	68,716	67,143	70,453	77,206	77,206	3,310				
財源名称	保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)						従事正職員人数	1	1	1	1	1					
	保険基盤安定繰入金(保険者支援分)						延べ業務事務時間	8	8	8	8	8					
	財政安定化支援事業繰入金						人件費計(千円)(B)	27	27	27	27	27	1				
	最終予算額		70,454 千円	予算執行率	99.9%		トータルコスト(A+B)	68,743	67,170	70,480	77,233	77,233	3,311				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	介護納付金分	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
21205	政策名	1	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	根拠法令等	国民健康保険法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営の主体となり、市町村ごとの国保事業費納付金の額の決定や、保険給付に必要な費用の全額を、市町村に対して支払うこととなり、市町村は、都道府県が市町村ごとに決定した納付金を都道府県に納付する。そのうちの介護納付金分。	国民健康保険法により市町村等に運営事業が義務づけられている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国民健康保険の財政運営制度	ア 制度数	制度	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1	1
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 円滑に運営する	ア 円滑に運営できた制度数	制度	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 支払業務	ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8 8 100.0%	8	8
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		21 款		13 項		03 目		01 大事業		01 中事業		予算上の事業名				事業番号
	国民健康保険特別会計(事業勘定)		国民健康保険事業費納付金		介護納付金分		介護納付金分		01		01		介護納付金分				
21205	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財	6,031	5,899	5,986	6,138	6,138	87	その他特財	4,630	5,943	6,100	6,138	6,138	157				
一般財源	14,078	15,646	17,374	14,746	14,746	1,728	一般財源	15,218	15,602	17,259	14,746	14,746	1,657				
合計	20,109	21,545	23,360	20,884	20,884	1,815	合計(A)	19,848	21,545	23,359	20,884	20,884	1,814				
財源名称	保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)						従事正職員人数	1	1	1	1	1					
	保険基盤安定繰入金(保険者支援分)						延べ業務事務時間	8	8	8	8	8					
	財政安定化支援事業繰入金						人件費計(千円)(B)	27	27	27	27	27	1				
	最終予算額		23,360 千円		予算執行率		99.9%	トータルコスト(A+B)		19,875	21,572	23,386	20,911	20,911	1,815		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	法に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津直診施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22031	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・奥津診療所の経常管理費(委託料・光熱水費等)の支払	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	4,850	2,500	2,500
イ	イ		実績	2,600	2,409	2,389		
			達成率	53.6%	49.7%	49.3%		95.6%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津診療所での診療	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
イ	イ		実績	188	196	232		
			達成率	79.7%	83.1%	98.3%		98.3%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費		奥津直診施設経常管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	22031		
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	8,795	8,655	8,957	9,693	9,693	302	その他特財	8,165	6,661	8,497	9,693	9,693	1,836		
一般財源							一般財源								
合計	8,795	8,655	8,957	9,693	9,693	302	合計(A)	8,165	6,661	8,497	9,693	9,693	1,836		
財源名称	事業勘定繰入金					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	雑入					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		8,957 千円		予算執行率	94.8%	トータルコスト(A+B)	8,900	7,398	9,250	10,433	10,433	1,852		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	受診者数は人口とともに減少傾向にあるが、かかりつけ医としての需要や各種ワクチン接種での利用は依然として高く、へき地医療として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原直診施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22032	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原診療所の経常管理費(委託料・光熱水費等)の支払	平成7年度に現在の福祉センターを建設した際に歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原診療所の受診者数	人	目標	3,500	3,500	3,500	1,700	1,700
			実績	1,650	1,538	1,533		
			達成率	47.1%	43.9%	43.8%		90.2%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原診療所での診療	ア 上齋原診療所の診療日数	日	目標	190	190	190	190	190
			実績	155	153	142		
			達成率	81.6%	80.5%	74.7%		74.7%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費		上齋原直診施設経常管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	22032		
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	8,435	7,813	8,464	7,818	7,818	651	7,306	7,699	7,722	7,818	7,818	23			
一般財源							一般財源								
合計	8,435	7,813	8,464	7,818	7,818	651	合計(A)	7,306	7,699	7,722	7,818	7,818	23		
財源名称	文書料						従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	一般会計繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	雑入						人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16		
	最終予算額		8,464 千円		予算執行率		91.2%		トータルコスト(A+B)		8,041	8,436	8,475	8,558	8,558

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	1週間の診療日数が全日1日、半日2日と少なく、受診者数は減少傾向にあるが、かかりつけ医としての需要や各種ワクチン接種での利用は依然として高く、へき地医療として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原歯科施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22033	政策名	1 ころろあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原歯科診療所の医療用消耗機材費の支払	旧上齋原村当時は、奥津の歯科医が診療を行い、その後、津山保健所から派遣をしてもらっていたが、岡山大学からの歯科医師の派遣を経て、平成7年度に現在の福祉センターを建設したとき、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原歯科診療所の受診者数	人	目標	3,000	3,000	3,000	1,500	1,500
イ	イ		実績	1,153	1,326	1,334		
			達成率	38.4%	44.2%	44.5%		88.9%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原歯科診療所での診療	ア 上齋原歯科診療所の診療日数	日	目標	195	195	195	195	195
イ	イ		実績	161	192	188		
			達成率	82.6%	98.5%	96.4%		96.4%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名				事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費		04	03	上齋原歯科施設経常管理費				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	5,490	6,476	7,882	6,583	6,583	1,406	その他特財	4,288	5,802	6,630	6,583	6,583	828		
一般財源							一般財源								
合計	5,490	6,476	7,882	6,583	6,583	1,406	合計(A)	4,288	5,802	6,630	6,583	6,583	828		
財源名称	住宅使用料						従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	一般会計繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	雑入						人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16		
	最終予算額		7,882 千円		予算執行率		84.1%	トータルコスト(A+B)	5,023	6,539	7,383	7,323	7,323	844	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	受診者数は横ばいであるが、近隣に歯科がないため、かかりつけ医としての需要は依然として高く、へき地医療として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富直診療施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
22034	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富診療所の経常管理費(委託料・光熱水費等)の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富診療所の受診者数	人	目標	2,700	2,700	2,700	1,500	1,500
			実績	1,465	1,448	1,360		
			達成率	54.3%	53.6%	50.4%		90.7%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 富診療所での診療	ア 富診療所の診療日数	日	目標	150	150	150	150	150
			実績	149	143	142		
			達成率	99.3%	95.3%	94.7%		94.7%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費		04	04	富直診療施設経常管理費					
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財	7,930	8,746	9,211	8,148	8,148	465	その他特財	7,604	8,165	8,193	8,148	8,148	28			
一般財源							一般財源									
合計	7,930	8,746	9,211	8,148	8,148	465	合計(A)	7,604	8,165	8,193	8,148	8,148	28			
財源名称	文書料 富診療所分						従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金 富診療所分						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	一般会計繰入金 富診療所分						人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		9,211 千円		予算執行率	88.9%		トータルコスト(A+B)	8,339	8,902	8,946	8,888	8,888	44		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	1週間の診療日数が全日2日、半日1日と少なく、受診者数は減少傾向にあるが、かかりつけ医としての需要や各種ワクチン接種での利用は依然として高く、へき地医療として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富歯科施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22035	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富歯科診療所の経常管理費(委託料・光熱水費等)の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、富診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	→	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	→	ア 富歯科診療所の受診者数	人	目標	2,300	2,300	2,300	1,600	1,600
イ	→	イ		実績	1,390	1,530	1,475		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 富歯科診療所での診療	→	ア 富歯科診療所の診療日数	日	目標	215	215	215	215	215
イ	→	イ		実績	224	213	210		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費		富歯科施設経常管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	3,547	4,208	5,056	3,954	3,954	848	2,948	3,447	3,890	3,954	3,954	443			
一般財源							一般財源								
合計	3,547	4,208	5,056	3,954	3,954	848	合計(A)	2,948	3,447	3,890	3,954	3,954	443		
財源名称	住宅使用料		従事正職員人数		2	2	2	2	2						
	一般会計繰入金		延べ業務事務時間		220	220	220	220	220						
	雑入		人件費計(千円)(B)		735	737	753	740	740			16			
	最終予算額		5,056 千円	予算執行率		76.9%	トータルコスト(A+B)		3,683	4,184	4,643	4,694	4,694	459	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	目標に対しての受診率は高い。近隣に歯科がないため、かかりつけ医としての需要は依然として高く、へき地医療として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津歯科施設経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22036	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・奥津歯科診療所の経常管理費(委託料・光熱費等)の支払	地元の要望により、平成24年4月1日に女原の診療所内に開設した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津歯科診療所の受診者数	人	目標	1,100	1,100	1,100	900	900
イ	イ		実績	845	785	777		
			達成率	76.8%	71.4%	70.6%		86.3%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津歯科診療所での診療	ア 奥津歯科診療所の診療日数	日	目標	100	100	100	100	100
イ	イ		実績	114	97	94		
			達成率	114.0%	97.0%	94.0%		94.0%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		施設管理費		奥津歯科施設経常管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	2,909	3,431	3,973	3,200	3,200	542	2,377	2,743	3,520	3,200	3,200	777			
一般財源															
合計	2,909	3,431	3,973	3,200	3,200	542	合計(A)	2,377	2,743	3,520	3,200	3,200	777		
財源名称	一般会計繰入金					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	雑入					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
						人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		3,973 千円		予算執行率	88.5%	トータルコスト(A+B)	3,112	3,480	4,273	3,940	3,940	793		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	1週間の診療日数は2日と少ないが、近隣に歯科がないため、かかりつけ医としての需要は依然として高く、へき地医療として地域の医療を担っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	岡山県へき地医療拠点病院運営事業費(奥津医科)	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
22057	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・日本原病院、榊原病院からの医師派遣負担金等の支払い	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	4,850	2,500	2,500
			実績	2,600	2,409	2,389		
			達成率	53.6%	49.7%	49.3%		95.6%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津診療所での診療	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
			実績	188	196	232		
			達成率	79.7%	83.1%	98.3%		98.3%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 03		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		へき地医療拠点病院運営事業費		岡山県へき地医療拠点病院運営事業費(奥津医科)						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	4,383	1,650	3,575	3,575	3,575	1,925	1,590	1,590	3,020	3,575	3,575	1,430			
一般財源							一般財源								
合計	4,383	1,650	3,575	3,575	3,575	1,925	合計(A)	1,590	1,590	3,020	3,575	3,575	1,430		
財源名称	一般会計繰入金					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	後期高齢者医療診療報酬収入					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
						人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		3,575 千円		予算執行率	84.4%	トータルコスト(A+B)	2,325	2,327	3,773	4,315	4,315	1,446		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	週5日の診療日数のうち、2日間医師派遣をしてもらっている。鏡野病院からの医師派遣だけでは賄いきれず、へき地医療として診療日数を確保するために今後も必要である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	岡山県へき地医療拠点病院運営事業費(上齋原内科)	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
22059	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・津山中央病院からの医師派遣負担金等の支払い	平成7年度に現在の福祉センターを建設した際に歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原診療所の受診者数	人	目標	3,500	3,500	3,500	1,700	1,700
			実績	1,650	1,538	1,533		
			達成率	47.1%	43.9%	43.8%		90.2%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原診療所での診療	ア 上齋原診療所での診療日数	日	目標	190	190	190	190	190
			実績	155	153	142		
			達成率	81.6%	80.5%	74.7%		74.7%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 01		目 03		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		施設管理費		へき地医療拠点病院運営事業費		岡山県へき地医療拠点病院運営事業費(上齋原内科)						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財			3,698		3,700	3,698	その他特財		3,393		3,700	3,393			
一般財源						一般財源									
合計			3,698		3,700	3,698	合計(A)		3,393		3,700	3,393			
財源名称	一般会計繰入金					従事正職員人数			2		2	2			
	後期高齢者医療診療報酬収入					延べ業務事務時間			220		220	220			
						人件費計(千円)(B)			753		740	753			
	最終予算額	3,698 千円		予算執行率	91.7%		トータルコスト(A+B)		4,146		4,440	4,146			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	週3日の診療日数のうち、1日間医師派遣をしてもらっている。鏡野病院からの医師派遣だけでは賄いきれず、へき地医療として診療日数を確保するために今後も必要である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津直診施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
22071	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・奥津診療所での医療用器具の購入・修繕費等の支払	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	4,850	2,500	2,500
イ	イ		実績	2,600	2,409	2,389		
			達成率	53.6%	49.7%	49.3%		95.6%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津診療所での診療	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
イ	イ		実績	188	196	232		
			達成率	79.7%	83.1%	98.3%		98.3%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		大事業 中事業 予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		奥津直診施設医療用機械器具費						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	1,477	1,434	1,840	1,491	1,491	406	その他特財	1,329	565	1,050	1,491	1,491	485		
一般財源							一般財源								
合計	1,477	1,434	1,840	1,491	1,491	406	合計(A)	1,329	565	1,050	1,491	1,491	485		
財源名称	一部負担金収入						従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	事業勘定繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16		
	最終予算額		1,840 千円		予算執行率		57.0%		トータルコスト(A+B)		2,064	1,302	1,803	2,231	2,231

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守、修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原直診施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22072	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原診療所の医療用機器の購入・修繕費等の支払	平成7年度に現在の福祉センターを建設した際に、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原診療所の受診者数	人	目標	3,500	3,500	3,500	1,700	1,700
イ	イ		実績	1,650	1,538	1,533		
			達成率	47.1%	43.9%	43.8%		90.2%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原診療所での診療	ア 上齋原診療所の診療日数	日	目標	190	190	190	190	190
イ	イ		実績	155	153	142		
			達成率	81.6%	80.5%	74.7%		74.7%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		上齋原直診施設医療用機械器具費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	587	587	678	832	832	91	526	466	345	832	832	-121			
一般財源															
合計	587	587	678	832	832	91	合計(A)	526	466	345	832	832	-121		
財源名称	一部負担金収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		678 千円	予算執行率	50.8%	トータルコスト(A+B)	1,261	1,203	1,098	1,572	1,572	-105			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守、修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原歯科施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22073	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原歯科診療所の医療機器消耗品費、修繕料、機械器具購入費の支払	旧上齋原村当時は奥津の歯科医が診療を行い、その後、津山保健所から派遣をしてもらっていたが、岡山大学からの歯科医師の派遣を経て平成7年度に現在の福祉センターを建設したとき、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原歯科診療所の受診者数	人	目標	3,000	3,000	3,000	1,500	1,500
イ	イ		実績	1,153	1,326	1,334		
			達成率	38.4%	44.2%	44.5%		88.9%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原歯科診療所での診療	ア 上齋原歯科診療所の診療日数	日	目標	195	195	195	195	195
イ	イ		実績	161	192	188		
			達成率	82.6%	98.5%	96.4%		96.4%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		上齋原歯科施設医療用機械器具費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	160	112	285	1,617	1,617	173	11	92	241	1,617	1,617	149			
一般財源															
合計	160	112	285	1,617	1,617	173	合計(A)	11	92	241	1,617	1,617	149		
財源名称	社会保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		285 千円		予算執行率	84.5%	トータルコスト(A+B)		746	829	994	2,357	2,357	165	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守、修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富直診療施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22074	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富診療所の経常管理費(委託料・光熱水費等)の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富診療所の受診者数	人	目標	2,700	2,700	2,700	1,500	1,500
イ	イ		実績	1,465	1,448	1,360		
			達成率	54.3%	53.6%	50.4%		90.7%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 富診療所での診療	ア 富診療所の診療日数	日	目標	150	150	150	150	150
イ	イ		実績	149	143	142		
			達成率	99.3%	95.3%	94.7%		94.7%
			目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		富直診療施設医療用機械器具費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	1,618	1,618	1,618	1,512	1,512	その他特財	1,543	1,151	1,130	1,512	1,512	-21			
一般財源						一般財源									
合計	1,618	1,618	1,618	1,512	1,512	合計(A)	1,543	1,151	1,130	1,512	1,512	-21			
財源名称	文書料 富診療所分				従事正職員人数		2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金 富診療所分				延べ業務事務時間		220	220	220	220	220				
	一般会計繰入金 富診療所分				人件費計(千円)(B)		735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		1,618 千円		予算執行率		69.8%		トータルコスト(A+B)		2,278	1,888	1,883	2,252	2,252

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守、修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富歯科施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
22075	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富歯科診療所の医療用機器の購入費・修繕料等の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、富診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富歯科診療所の受診者数	人	目標	2,300	2,300	2,300	1,600	1,600
イ	イ		実績	1,390	1,530	1,475		
			達成率	60.4%	66.5%	64.1%		92.2%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 富歯科診療所での診療	ア 富歯科診療所の診療日数	日	目標	215	215	215	215	215
イ	イ		実績	224	213	210		
			達成率	104.2%	99.1%	97.7%		97.7%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		大事業 中事業						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		富歯科施設医療用機械器具費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	573	483	519	1,136	1,136	36	152	470	489	1,136	1,136	19			
一般財源															
合計	573	483	519	1,136	1,136	36	合計(A)	152	470	489	1,136	1,136	19		
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	社会保険診療報酬収入					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	事業勘定繰入金					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		519 千円		予算執行率	94.2%	トータルコスト(A+B)		887	1,207	1,242	1,876	1,876	35	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守、修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津歯科施設医療用機械器具費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22076	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・奥津歯科診療所の医療用器械消耗品費、修繕料の支払	地元の要望により、平成24年4月1日に、女原の診療所内に開設した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津歯科診療所の受診者数	人	目標	1,100	1,100	1,100	900	900
イ	イ		実績	845	785	777		
			達成率	76.8%	71.4%	70.6%		86.3%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津歯科診療所での診療	ア 奥津歯科診療所の診療日数	日	目標	100	100	100	100	100
イ	イ		実績	114	97	94		
			達成率	114.0%	97.0%	94.0%		94.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用機械器具費		奥津歯科施設医療用機械器具費						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	126	90	111	80	80	21	その他特財	125	3	51	80	80	48		
一般財源							一般財源								
合計	126	90	111	80	80	21	合計(A)	125	3	51	80	80	48		
財源名称	国民健康保険診療報酬収入						従事正職員人数	1	2	2	2	2			
	事業勘定繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16		
	最終予算額		111 千円		予算執行率		45.9%	トータルコスト(A+B)		860	740	804	820	820	64

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	地域医療を担う医療機関として、最低限の医療用機械器具は必要であり、今後も計画的に保守、修繕及び購入をしていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津直診施設医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22081	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・奥津診療所での医療用消耗機材費の支払	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	4,850	2,500	2,500
イ	イ		実績	2,600	2,409	2,389		
			達成率	53.6%	49.7%	49.3%		95.6%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津診療所での診療	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
イ	イ		実績	188	196	232		
			達成率	79.7%	83.1%	98.3%		98.3%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		奥津直診施設医療用消耗機材費						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	514	600	600	500	500		その他特財	514	538	365	500	500	-173		
一般財源							一般財源								
合計	514	600	600	500	500		合計(A)	514	538	365	500	500	-173		
財源名称	一部負担金収入						従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	事業勘定繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16		
	最終予算額		600 千円		予算執行率	60.8%		トータルコスト(A+B)	1,249	1,275	1,118	1,240	1,240	-157	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原直診施設医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
22082	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原診療所の医療用消耗機材費の支払	平成7年度に現在の福祉センターを建設した際に、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原診療所の受診者数	人	目標	3,500	3,500	3,500	1,700	1,700
イ	イ		実績	1,650	1,538	1,533		
			達成率	47.1%	43.9%	43.8%		90.2%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原診療所での診療	ア 上齋原診療所の診療日数	日	目標	190	190	190	190	190
イ	イ		実績	155	153	142		
			達成率	81.6%	80.5%	74.7%		74.7%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		上齋原直診施設医療用消耗機材費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	480	480	480	350	350	その他特財	342	231	217	350	350	-14			
一般財源						一般財源									
合計	480	480	480	350	350	合計(A)	342	231	217	350	350	-14			
財源名称	国民健康保険診療報酬収入				従事正職員人数		2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金				延べ業務事務時間		220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入				人件費計(千円)(B)		735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		480 千円		予算執行率		45.2%		トータルコスト(A+B)		1,077	968	970	1,090	1,090

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原歯科施設医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
22083	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原歯科診療所の医療用消耗機材費の支払	旧上齋原村当時は、奥津の歯科医が診療を行い、その後、津山保健所から派遣をしてもらっていたが、岡山大学からの歯科医師の派遣を経て、平成7年度に現在の福祉センターを建設したとき、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原歯科診療所の受診者数	人	目標	3,000	3,000	3,000	1,500	1,500
			実績	1,153	1,326	1,334		
			達成率	38.4%	44.2%	44.5%		88.9%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原歯科診療所での診療	ア 上齋原歯科診療所の診療日数	日	目標	195	195	195	195	195
			実績	161	192	188		
			達成率	82.6%	98.5%	96.4%		96.4%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		上齋原歯科施設医療用消耗機材費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	120	121	120	120	120	-1	その他特財	38	121	111	120	120	-10		
一般財源							一般財源								
合計	120	121	120	120	120	-1	合計(A)	38	121	111	120	120	-10		
財源名称	社会保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		120 千円		予算執行率	92.5%	トータルコスト(A+B)	773	858	864	860	860	6		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富直診療施設医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22084	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富診療所の医療用消耗機材費の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	→	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
				見込					
				実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	→	ア 富診療所の受診者数	人	目標	2,700	2,700	2,700	1,500	1,500
イ	→	イ		実績	1,465	1,448	1,360		
				達成率	54.3%	53.6%	50.4%		90.7%
				目標					
				実績					
				達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 富診療所での診療	→	ア 富診療所の診療日数	日	目標	150	150	150	150	150
イ	→	イ		実績	149	143	142		
				達成率	99.3%	95.3%	94.7%		94.7%
				目標					
				実績					
				達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		富直診療施設医療用消耗機材費						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	480	360	360	300	300		その他特財	360	344	329	300	300	-15		
一般財源							一般財源								
合計	480	360	360	300	300		合計(A)	360	344	329	300	300	-15		
財源名称	国民健康保険診療報酬収入						従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	社会保険診療報酬収入						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16		
	最終予算額		360 千円		予算執行率	91.3%		トータルコスト(A+B)	1,095	1,081	1,082	1,040	1,040	1	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富歯科施設医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22085	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富歯科診療所の医療用消耗機材費の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、富診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富歯科診療所の受診者数	人	目標	2,300	2,300	2,300	1,600	1,600
			実績	1,390	1,530	1,475		
			達成率	60.4%	66.5%	64.1%		92.2%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 富歯科診療所での診療	ア 富歯科診療所の診療日数	日	目標	215	215	215	215	215
			実績	224	213	210		
			達成率	104.2%	99.1%	97.7%		97.7%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		富歯科施設医療用消耗機材費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	1,600	1,684	1,860	1,560	1,560	176	1,355	1,684	1,778	1,560	1,560	94			
一般財源							一般財源								
合計	1,600	1,684	1,860	1,560	1,560	176	合計(A)	1,355	1,684	1,778	1,560	1,560	94		
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		1,860 千円		予算執行率	95.5%	トータルコスト(A+B)	2,090	2,421	2,531	2,300	2,300	110		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津歯科診療所医療用消耗機材費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22086	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・奥津歯科診療所の医療用消耗機材費の支払	地元の要望により、平成24年4月1日に女原の診療所内に開設した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津歯科診療所の受診者数	人	目標	1,100	1,100	1,100	900	900
イ	イ		実績	845	785	777		
			達成率	76.8%	71.4%	70.6%		86.3%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津歯科診療所での診療	ア 奥津歯科診療所の診療日数	日	目標	100	100	100	100	100
イ	イ		実績	114	97	94		
			達成率	114.0%	97.0%	94.0%		94.0%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 02		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		医療用消耗器材費		奥津歯科診療所医療用消耗機材費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	22086		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	実績			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	263	240	240	240	240	その他特財	185	87	65	240	240	-22			
一般財源						一般財源									
合計	263	240	240	240	240	合計(A)	185	87	65	240	240	-22			
財源名称	国民健康保険診療報酬収入				従事正職員人数		2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金				延べ業務事務時間		220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入				人件費計(千円)(B)		735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		240 千円		予算執行率		27.0%		トータルコスト(A+B)		920	824	818	980	980

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	医療用に使用される消耗機材(試験用薬品、針、部品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津直診施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22091	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・奥津診療所の内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	4,850	2,500	2,500
			実績	2,600	2,409	2,389		
			達成率	53.6%	49.7%	49.3%		95.6%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津診療所での診療	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
			実績	188	196	232		
			達成率	79.7%	83.1%	98.3%		98.3%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		奥津直診施設医薬品衛生材料費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	30,804	29,944	30,000	30,000	30,000	56	その他特財	30,803	26,429	24,773	30,000	30,000	-1,656		
一般財源							一般財源								
合計	30,804	29,944	30,000	30,000	30,000	56	合計(A)	30,803	26,429	24,773	30,000	30,000	-1,656		
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	一部負担金収入					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		30,000 千円	予算執行率		82.5%	トータルコスト(A+B)		31,538	27,166	25,526	30,740	30,740	-1,640	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原直診施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
22092	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原診療所の内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	平成7年度に現在の福祉センターを建設した際に、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原診療所の受診者数	人	目標	3,500	3,500	3,500	1,700	1,700
			実績	1,650	1,538	1,533		
			達成率	47.1%	43.9%	43.8%		90.2%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原診療所での診療	ア 上齋原診療所の診療日数	日	目標	190	190	190	190	190
			実績	155	153	142		
			達成率	81.6%	80.5%	74.7%		74.7%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		上齋原直診施設医薬品衛生材料費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	26,400	26,400	19,200	14,400	14,400	-7,200	その他特財	17,596	13,795	9,283	14,400	14,400	-4,512		
一般財源							一般財源								
合計	26,400	26,400	19,200	14,400	14,400	-7,200	合計(A)	17,596	13,795	9,283	14,400	14,400	-4,512		
財源名称	一部負担金収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	一般会計繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		19,200 千円	予算執行率	48.3%		トータルコスト(A+B)	18,331	14,532	10,036	15,140	15,140	-4,496		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原歯科施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22093	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原歯科診療所の技工料及び内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	旧上齋原村当時は、奥津の歯科医が診療を行い、その後、津山保健所から派遣をしてもらっていたが、岡山大学からの歯科医師の派遣を経て平成7年度に現在の福祉センターを建設したとき、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原歯科診療所の受診者数	人	目標	3,000	3,000	3,000	1,500	1,500
イ	イ		実績	1,153	1,326	1,334		
			達成率	38.4%	44.2%	44.5%		88.9%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原歯科診療所での診療	ア 上齋原歯科診療所の診療日数	日	目標	195	195	195	195	195
イ	イ		実績	161	192	188		
			達成率	82.6%	98.5%	96.4%		96.4%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		上齋原歯科施設医薬品衛生材料費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	10,560	7,657	10,000	8,100	8,100	2,343	8,255	6,865	7,778	8,100	8,100	913			
一般財源															
合計	10,560	7,657	10,000	8,100	8,100	2,343	合計(A)	8,255	6,865	7,778	8,100	8,100	913		
財源名称	社会保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額	10,000 千円	予算執行率	77.7%		トータルコスト(A+B)	8,990	7,602	8,531	8,840	8,840	929			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富直診療施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22094	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富診療所の内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富診療所の受診者数	人	目標	2,700	2,700	2,700	1,500	1,500
イ	イ		実績	1,465	1,448	1,360		
			達成率	54.3%	53.6%	50.4%		90.7%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 富診療所での診療	ア 富診療所の診療日数	日	目標	150	150	150	150	150
イ	イ		実績	149	143	142		
			達成率	99.3%	95.3%	94.7%		94.7%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		富直診療施設医薬品衛生材料費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	15,000	13,200	12,000	11,000	11,000	-1,200	その他特財	11,454	11,672	9,696	11,000	11,000	-1,976		
一般財源							一般財源								
合計	15,000	13,200	12,000	11,000	11,000	-1,200	合計(A)	11,454	11,672	9,696	11,000	11,000	-1,976		
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	一部負担金収入					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額	12,000 千円	予算執行率	80.8%		トータルコスト(A+B)	12,189	12,409	10,449	11,740	11,740	-1,960			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富歯科施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22095	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富歯科診療所の技工料及び内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富歯科診療所の受診者数	人	目標	2,300	2,300	2,300	1,600	1,600
イ	イ		実績	1,390	1,530	1,475		
			達成率	60.4%	66.5%	64.1%		92.2%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 富歯科診療所での診療	ア 富歯科診療所の診療日数	日	目標	215	215	215	215	215
イ	イ		実績	224	213	210		
			達成率	104.2%	99.1%	97.7%		97.7%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		富歯科施設医薬品衛生材料費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	3,000	2,876	3,000	2,700	2,700	124	2,073	2,458	2,733	2,700	2,700	275			
一般財源							一般財源								
合計	3,000	2,876	3,000	2,700	2,700	124	合計(A)	2,073	2,458	2,733	2,700	2,700	275		
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		3,000 千円		予算執行率	91.1%	トータルコスト(A+B)	2,808	3,195	3,486	3,440	3,440	291		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津歯科施設医薬品衛生材料費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22096	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・奥津歯科診療所の技工料及び内服・外用・注射等の医薬品衛生材料費の支払	地元の要望により、平成24年4月1日に女原の診療所内に開設した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津歯科診療所の受診者数	人	目標	1,100	1,100	1,100	900	900
イ	イ		実績	845	785	777		
			達成率	76.8%	71.4%	70.6%		86.3%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津歯科診療所での診療	ア 奥津歯科診療所の診療日数	日	目標	100	100	100	100	100
イ	イ		実績	114	97	94		
			達成率	114.0%	97.0%	94.0%		94.0%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 03		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医薬費		医薬費		医薬品衛生材料費		奥津歯科施設医薬品衛生材料費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	2,629	2,280	2,360	2,050	2,050	80	2,138	2,061	2,328	2,050	2,050	267			
一般財源							一般財源								
合計	2,629	2,280	2,360	2,050	2,050	80	合計(A)	2,138	2,061	2,328	2,050	2,050	267		
財源名称	国民健康保険診療報酬収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		2,360 千円		予算執行率	98.6%	トータルコスト(A+B)	2,873	2,798	3,081	2,790	2,790	283		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	医療用に使用される消耗品(包帯、ガーゼ、脱脂綿、医薬品等)の在庫管理を適切に行い、計画的に購入する必要がある。
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津直診施設検査料	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
22101	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療としての地域の医療を行う。 ・奥津診療所の血液検査等の委託手数料の支払	昭和58年に女原に新しく建設し運営。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	4,850	2,500	2,500
			実績	2,600	2,409	2,389		
			達成率	53.6%	49.7%	49.3%		95.6%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津診療所での診療	ア 奥津診療所の診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
			実績	188	196	232		
			達成率	79.7%	83.1%	98.3%		98.3%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 04		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		検査料		奥津直診施設検査料						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	1,874	2,561	2,400	2,400	2,400	-161	その他特財	1,864	2,339	2,260	2,400	2,400	-79		
一般財源							一般財源								
合計	1,874	2,561	2,400	2,400	2,400	-161	合計(A)	1,864	2,339	2,260	2,400	2,400	-79		
財源名称	一部負担金収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	事業勘定繰入金					延べ業務事務時間	220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入					人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16			
	最終予算額 2,400 千円					予算執行率	94.1%	トータルコスト(A+B)		2,599	3,076	3,013	3,140	3,140	-63

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	町民に適切な治療が行えるよう、今後も医師が必要とする検査体制を整えなければならない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原直診施設検査料	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22102	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原診療所の血液検査等の委託手数料の支払	平成7年度に現在の福祉センターを建設した際に、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	→	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	→	ア 上齋原診療所の受診者数	人	目標	3,500	3,500	3,500	1,700	1,700
イ	→	イ		実績	1,650	1,538	1,533		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原診療所での診療	→	ア 上齋原診療所の診療日数	日	目標	190	190	190	190	190
イ	→	イ		実績	155	153	142		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 04		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		検査料		上齋原直診施設検査料						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	600	600	600	600	600		その他特財	407	387	298	600	600	-89		
一般財源							一般財源								
合計	600	600	600	600	600		合計(A)	407	387	298	600	600	-89		
財源名称	事業勘定繰入金						従事正職員人数	2	2	2	2	2			
	一般会計繰入金						延べ業務事務時間	220	220	220	220	220			
	後期高齢者医療診療報酬収入						人件費計(千円)(B)	735	737	753	740	740	16		
	最終予算額		600 千円		予算執行率	49.6%		トータルコスト(A+B)	1,142	1,124	1,051	1,340	1,340	-73	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	町民に適切な治療が行えるよう、今後も医師が必要とする検査体制を整えなければならない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富直診療施設検査料	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
22104	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富診療所の血液検査等の委託手数料の支払	平成10年の総合福祉センター建設に伴い、歯科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富診療所の受診者数	人	目標	2,700	2,700	2,700	1,500	1,500
			実績	1,465	1,448	1,360		
			達成率	54.3%	53.6%	50.4%		90.7%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 富診療所での診療	ア 富診療所の診療日数	日	目標	150	150	150	150	150
			実績	149	143	142		
			達成率	99.3%	95.3%	94.7%		94.7%
イ			目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 02		項 01		目 04		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		医療費		医療費		検査料		富直診療施設検査料						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	600	600	600	600	600	その他特財	390	404	326	600	600	-78			
一般財源						一般財源									
合計	600	600	600	600	600	合計(A)	390	404	326	600	600	-78			
財源名称	国民健康保険診療報酬収入				従事正職員人数		2	2	2	2	2				
	一部負担金収入				延べ業務事務時間		220	220	220	220	220				
	後期高齢者医療診療報酬収入				人件費計(千円)(B)		735	737	753	740	740	16			
	最終予算額		600 千円		予算執行率		54.3%		トータルコスト(A+B)		1,125	1,141	1,079	1,340	1,340

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	町民に適切な治療が行えるよう、今後も医師が必要とする検査体制を整えなければならない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津直診施設施設整備費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22201	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	高圧受電設備更新工事に要する経費	令和3年度に実施した業者の点検により、高圧受電設備の一部が動作不良を起こしていると指摘があり更新工事を行った。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 奥津診療所の受診者数	人	目標	4,850	4,850	4,850	2,500	2,500
			実績	2,600	2,409	2,389		
			達成率	53.6%	49.7%	49.3%		95.6%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津診療所での診療	ア 奥津診療所での診療日数	日	目標	236	236	236	236	236
			実績	188	196	232		
			達成率	79.7%	83.1%	98.3%		98.3%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 03		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		施設整備費		施設整備費		施設整備費		奥津直診施設施設整備費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財			825		825	その他特財			825			825			
一般財源						一般財源									
合計			825		825	合計(A)			825			825			
財源名称	一般会計繰入金					従事正職員人数				2			2		
						延べ業務事務時間				220			220		
						人件費計(千円)(B)				753			753		
	最終予算額		825 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)				1,578	1,578	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	高圧受電設備の更新工事に要した経費であり、適切に執行された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原歯科施設保健事業費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之	
22503	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者	小椋 浩美
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・上齋原歯科診療所の歯科に係る在宅ケアを推進するため、寝たきり老人等に対し、歯科診療・指導等を行う事業費の支払	旧上齋原村当時は、奥津の歯科医が診療を行い、その後、津山保健所から派遣をしてもらっていたが、岡山大学からの歯科医師の派遣を経て平成7年度に現在の福祉センターを建設したとき、内科診療所と併せて整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 上齋原歯科診療所の受診者数	人	目標	3,000	3,000	3,000	1,500	1,500
			実績	1,153	1,326	1,334		
			達成率	38.4%	44.2%	44.5%		88.9%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原歯科診療所での診療	ア 上齋原歯科診療所の診療日数	日	目標	195	195	195	195	195
			実績	161	192	188		
			達成率	82.6%	98.5%	96.4%		96.4%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 03		目 02		大事業		中事業		予算上の事業名		事業番号
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		保健事業費		歯科保健事業費		01		01		上齋原歯科施設保健事業費		
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	3,302	3,302	3,392	3,340	3,340	90	その他特財	2,553	2,559	2,997	3,340	3,340	438		
一般財源							一般財源								
合計	3,302	3,302	3,392	3,340	3,340	90	合計(A)	2,553	2,559	2,997	3,340	3,340	438		
財源名称	事業勘定繰入金					従事正職員人数		2	2	2	2	2			
	一般会計繰入金					延べ業務事務時間		220	220	200	200	200	-20		
						人件費計(千円)(B)		735	737	684	672	672	-53		
	最終予算額		3,392 千円	予算執行率		88.3%	トータルコスト(A+B)		3,288	3,296	3,681	4,012	4,012	385	

事業番号	22503	事務事業名	上齋原歯科施設保健事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	コロナ禍においてマスクを常時着用しているため、口腔内の細菌が増殖し、口臭、う歯及び歯周病に関する相談が増加している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	口腔内検査の結果により、内科・介護・保健及び歯科へ紹介を行い、早期治療につなげている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?	口腔内の指導、介入及び紹介に対して多くの利用者が満足している。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 地域医療の充実に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 近辺に他の歯科診療所が無い地域であることから、妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町民の健康づくり推進のためになっており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 事業の大切さが住民に理解されるよう継続して行い、成果の向上を目指す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 近辺に他の歯科診療所が無い地域であることから影響がある。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 本事業が周知されるよう広報を行う。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 専門機関の協力が必要である。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 歯科医師、歯科衛生士、保健師、管理栄養士といった専門職の関わりが必要である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 希望者全てに対して行うことができるため、公平・公正な事業である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	疾病(肺炎)の早期治療につなぐことができたため、医療費の削減に貢献できている。また、対象者が摂食嚥下できない食形態での食事を防止できたため、肺炎予防、窒息予防及び苦痛の軽減に効果があった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 本事業を知らない住民や、必要とする施設や居宅高齢者への対応を増やす努力が必要である。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
本事業の広報を行う。 摂食嚥下専門の歯科医師、言語聴覚士、歯科衛生士といった専門職が不足している。																									

事業番号	事務事業名	富歯科施設保健事業費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
22505	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険診療所条例(平成17年条例第168号)等	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	へき地医療として地域の医療を行う。 ・富歯科診療所の歯科に係る在宅ケアを推進するため、寝たきり老人等に対し、歯科診療・指導等を行う事業費の支払	歯科診療所の開設に伴い、歯科に係る保健指導を行う事業に取り組む。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な医療を受診してもらう	ア 富歯科診療所の受診者数	人	目標	2,300	2,300	2,300	1,600	1,600
			実績	1,390	1,530	1,475		
			達成率	60.4%	66.5%	64.1%		92.2%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 富歯科診療所での診療	ア 富歯科診療所の診療日数	日	目標	215	215	215	215	215
			実績	224	213	210		
			達成率	104.2%	99.1%	97.7%		97.7%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 22		款 01		項 03		目 02		大事業		中事業		予算上の事業名				事業番号	
	国民健康保険特別会計(直診勘定)		総務費		保健事業費		歯科保健事業費		01	02	富歯科施設保健事業費							
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比
国庫支出金						国庫支出金												
県支出金						県支出金												
町債						町債												
その他特財	3,713	5,673	3,525	3,525	3,525	-2,148	その他特財	2,483	4,130	3,349	3,525	3,525	-781					
一般財源							一般財源											
合計	3,713	5,673	3,525	3,525	3,525	-2,148	合計(A)	2,483	4,130	3,349	3,525	3,525	-781					
財源名称	事業勘定繰入金					従事正職員人数		2	2	2	2	2						
	一般会計繰入金					延べ業務事務時間		220	220	200	200	200	-20					
						人件費計(千円)(B)		735	737	684	672	672	-53					
	最終予算額		3,525 千円	予算執行率		95.0%	トータルコスト(A+B)		3,218	4,867	4,033	4,197	4,197	-834				

1枚目

事業番号	22505	事務事業名	富歯科施設保健事業費	所管課名	健康推進課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
コロナ禍においてマスクを常時着用しているため、口腔内の細菌が増殖し、口臭、う歯及び歯周病に関する相談が増加している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
口腔内検査の結果により、内科・介護・保健及び歯科へ紹介を行い、早期治療につなげている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
口腔内の指導、介入及び紹介に対して多くの利用者が満足している。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 地域医療の充実に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 近辺に他の歯科診療所が無い地域であることから、妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町民の健康づくり推進のためになっており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 事業の大切さが住民に理解されるよう継続して行い、成果の向上を目指す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 近辺に他の歯科診療所が無い地域であることから影響がある。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 本事業が周知されるよう広報を行う。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 専門機関の協力が必要である。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 歯科医師、歯科衛生士、保健師、管理栄養士といった専門職の関わりが必要である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 希望者全てに対して行うことができるため、公平・公正な事業である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	口腔ケアの指導が全身疾患への予防・悪化の防止に効果があっただけでなく、医療費削減につながった。また、口腔機能の向上が肺炎予防や低栄養の予防となり、介護予防につながった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 最も対策が必要な30～50代の男性の利用が少ないため、土日や平日夜に実施する等が必要である。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
本事業の広報を行う。 利用しやすいよう、土日や平日夜に実施する。																									

事業番号	事務事業名	総務経常管理費	所管課名	健康推進課	令和 4 年度課長名	石原 靖之
26001	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	医療保険係	担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町後期高齢者医療に関する条例(平成20年条例第14号)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	後期高齢者医療保険の事務を行う。 例)被保険者証の発送、被保険者証の再交付、認定証の交付、給付申請の受付など	平成20年4月の後期高齢者医療制度施行に伴い開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 後期高齢者医療被保険者	ア 後期高齢者医療被保険者数	人	見込 実績	2,650 2,547	2,650 2,512	2,650 2,566	2,550	2,550
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適正な療養の給付	ア 療養費給付件数	件	目標 実績 達成率	68,000 63,591 93.5%	68,000 62,650 92.1%	68,000 63,358 93.2%	64,000	64,000 99.0%
イ 適正な医療費の負担をしてもらう	イ 療養給付費の支払い金額	千円	目標 実績 達成率	2,292,000 2,183,370 95.3%	2,292,000 2,232,868 97.4%	2,292,000 2,191,140 95.6%	2,200,000	2,200,000 99.6%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 保険資格業務	ア 被保険者証の発送件数	件	目標 実績 達成率	2,600 2,163 83.2%	2,600 2,510 96.5%	2,600 2,515 96.7%	2,600	2,600 96.7%
イ 資格・給付業務	イ 各種申請書等の受付件数	件	目標 実績 達成率	800 760 95.0%	800 713 89.1%	800	800	800 89.1%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 26		款 01		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	後期高齢者医療特別会計		総務費		総務管理費		一般管理費		総務経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	2,778	2,528	2,639	2,452	2,452	111	2,591	2,265	2,381	2,452	2,452	116			
一般財源						一般財源									
合計	2,778	2,528	2,639	2,452	2,452	111	合計(A)	2,591	2,265	2,381	2,452	2,452	116		
財源名称	事務費繰入金					従事正職員人数	1	1	3	1	1	2			
						延べ業務事務時間	72	1,860	930	930	930	-930			
						人件費計(千円)(B)	241	6,231	3,182	3,127	3,127	-3,049			
	最終予算額		2,639 千円	予算執行率	90.2%		トータルコスト(A+B)	2,832	8,496	5,563	5,579	5,579	-2,933		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	法・条例に従い、適切に実施できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	